

Roxio Easy CD Creator™ 5 Basic

クイック スタート ガイド

著作権について

©1994-2001 Roxio, Inc. All rights reserved. 本書のどの部分も、Roxio, Inc., 461 South Milpitas Blvd., Milpitas, CA 95035 USA からの事前の書面による許可なく、電子的、機械的、複写機、記録などいかなる方法、いかなる形でも、転送、複製、検索システムに登録してはなりません。

商標

Roxio、Roxio のロゴ、Easy CD Creator、CD SpinDoctor、Take Two および Web-CheckUp、DirectCD、SoundMorph、SoundStream は、Roxio, Inc. の商標であり、何らかの司法権に登録されている場合があります。

Windows 95、Windows 98、Windows NT、Windows 2000、Windows Me および Windows XP は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標で、ライセンス契約の元に使用しています。

ArcSoft および VideoImpression は、ArcSoft, Inc. の登録商標です。

ノイズ除去とサウンド処理技術は、Arboretum Systems, Inc. からライセンスされています。Copyright © 1999 by Arboretum Systems, Inc.

QDesign MP3 Audio Codec. Copyright 1999-2000. QDesign Corporation. All rights reserved. <http://www.qdesign.com>.



MPEG Layer-3 のオーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IIS および THOMSON multimedia からライセンスされています。 <http://www.iis.fhg.de/amm/>.



ユーザー インターフェースのグラフィック デザインは、XEODesign®, Inc. によって制作されました。 <http://www.xeodesign.com>.



その他のすべての商標は、各権利所有者の所有によるものです。

変更について

この文書の資料はすべて単なる情報として提供されるものであり、予告なく変更される可能性があります。本書の制作に際し正確さを期するために万全の注意を払ってはおりますが、本書中の誤記や情報の抜け、あるいは情報の使用に起因する結果に関して、Roxio, Inc. はいかなる責任も負いません。

Roxio は、ユーザーに対する事前の約束および告知なしに製品のデザインを変更する権利を留保します。

著作権侵害に対する否認

この製品を使用して複製物を作成する場合は、著作権者から正式な承認を得ている必要があります。承認を得ないで複製物を作成することは法律に違反し、損害賠償の責を負う場合があります。

OEM ソフトウェアについて

OEM とは？

Roxio の OEM (Original Equipment Manufacturer) 製品とは、他のソフトウェアまたはハードウェア メーカーが自社の製品と組み合わせる、または一緒に使用するために Roxio から購入したソフトウェア製品のことで、本ソフトウェアが他社製の製品にバンドルされていた場合、本ソフトウェアは OEM 製品です。本ソフトウェアは、バンドル先の CD レコーダの仕様に合わせて変更されている場合があります。

OEM 製品に対するサポートについて

Roxio は、OEM 製品については直接サポートしておりません。本ソフトウェアが他社製の製品にバンドルされていた場合は、本ソフトウェアはその製品の一部と見なされていますので、サポートの詳細についてはその製品の販売または製造元にお問い合わせください。

Roxio は Web サイトでサポート情報を公開しておりますので、必要に応じてアクセスしてください (<http://www.roxio.co.jp>)。

OEM 版エンド ユーザー使用許諾契約書

次の契約条件を注意してお読みください。本ソフトウェアの使用は、Roxio, Inc. (以下「Roxio」といいます。)及び本製品にバンドルされているそのほかのライセンサーのソフトウェア使用条件に従うことを条件とします。本製品に含まれているソフトウェアを使用することにより、エンドユーザー (以下「お客様」といいます。)は、以下に記載した契約条件に拘束されることに同意したことになります。もし、お客様が、この契約条件に同意しない場合、お客様が購入された店舗に未使用の本製品を返還することができますものとしします。

Roxio ソフトウェア使用許諾契約

(単一のユーザー、ネットワーク以外のアプリケーション用)

お客様は、Roxio ソフトウェア、第三者のライセンサー及び Roxio が使用可能なパッチならびに関連する付属書類 (以下「本ソフトウェア」という。)を使用することにより、次の契約条件に同意するものとしします。

1. 使用許諾内容：本使用許諾契約により、お客様は、本ソフトウェアを：

- (a) 単一のコンピュータ システム上、すなわち 5 人を超えるユーザーで使用しない環境で使用し、
- (b) バックアップの目的で、機械読み取りの可能な形式で本ソフトウェアのコピーを作ることができます。但し、Roxio の著作権告示と知的財産権に関する記述を複製する必要があります。上記にかかわらず、本ソフトウェアは、主要ユーザーの家庭用、ラップトップまたはその他の二次的コンピュータならびにその使用をサポートするために、複製することができます。本使用許諾において使われる場合、RAM にロードされている場合、またはハードディスクまたはその他の永久メモリー デバイスにインストールされている場合、本ソフトウェアは使用されているものとしします。どの時点でも、1 台のコンピュータ上で使用されている場合、本ソフトウェアが使用されているとみなされます。(ネットワークまたはマルチプルユーザー アプリケーションにおいては、別の使用許可条件と料金が適用されます。)本使用許諾権に特有のものとして、お客様は、著作権法を含め、すべての適用法に従い、本ソフトウェアを使用すること、お客様は、コンテンツの所有者の使用許可を得ずに、本ソフトウェアを使用して音声またはその他のコンテンツの複製、転送、演奏、配布をしないことに同意したものとします。

2. 規制：お客様は、他人に本ソフトウェアのコピーを配布したり、ネットワーク上でコンピュータから他のコンピュータに転送してはいけません。お客様は、本ソフトウェアのコード、またはリアルタイム放送 (陸上、衛星、ケーブル、その他のメディア)、インターネットを利用した放送、またはイントラネットなどを利用したその他のネットワーク、または有料音声、音声オンデマンド アプリケーションなどにおいて、使用してはいけません。このような使用のためには、独立した使用許可が必要です。MP3 の使用許可の詳細に付いては、<http://www.mp3licensing.com> を参照ください。お客様は、本ソフトウェアの一部でも、またいかなる方式であれ、インターネット上に掲示したり、利用できるようにしてはなりません。お客様は、本ソフトウェアをタイムシェア アプリケーションを含め、コンピュータ サービス ビジネスにおいて、使用してはいけません。本ソフトウェアは、営業秘密を含み、同秘密を保護するために、お客様は、本ソフトウェアを逆コンパイル、リバース エンジニアリング、逆アセンブル、そのほか人が認知できるような状態に変更してはいけません。コンテンツ プロバイダは、そのコンテンツの統一性を保護し (以下、「セキュアコンテンツ」といいます。)、コンテンツ プロバイダの著作権をはじめとするそのコンテンツの知的財産権が不正使用されないようにするため、本ソフトウェア中のデジタル・ライツ・マネージメント・テクノロジー (以下「DRM」といいます。)を使用しています。セキュアコンテンツの所有者 (以下「セキュアコンテンツ オーナー」といいます。)は、時宜に応じて、Roxio またはそのサプライアに対して、本ソフト

ウェアの DRM コンポーネントのセキュリティ関連アップデート（以下「セキュリティアップデート」といいます。）の頒布を要求することがあり、この結果、本ソフトウェアを使用したお客様によるセキュア コンテンツの複製、展示、及び/または利用あるいは、本ソフトウェアを利用したその他のアプリケーションに影響を及ぼすことがあります。そのため、お客様は、セキュア コンテンツを利用する使用許諾をインターネットからダウンロードした場合、Roxio またはそのサプライヤは、その使用許諾に関連して、セキュア コンテンツ オーナーが、Roxio またはそのサプライヤに対して頒布することを要求したセキュリティアップデートを、お客様のコンピュータにダウンロードすることがあります。Roxio 及びそのサプライヤは、そのセキュリティアップデートをダウンロードすることにより、お客様のコンピュータから個人情報またはそのほかの情報を取り出すことは致しません。さらに、お客様は、本ソフトウェアを修正、改造、翻訳、賃貸、リース、ローン、利益のための再販売、またはネットワークで提供したり、あるいは本ソフトウェアやその一部を基として、派生製品を製造してはいけません。

3. 本ソフトウェアの所有権：お客様は、ライセンシーとして、ソフトウェアが記録され、または固定されたメディアを所有していますが、オリジナルのメディアに記録された本ソフトウェア、及びその後作られた本ソフトウェアのコピーに対する権利と所有権は、コピーのフォームや媒体に拘らず、Roxio 及びそのライセンサーが保持します。本使用許諾は、本ソフトウェアまたはその複製を販売するものではありません。
4. 守秘義務：お客様は、本ソフトウェアの秘密を保持するものとし、Roxio の書面による許可なく、第三者に本ソフトウェアを開示しないものとします。お客様は本ソフトウェアについての第三者の無権限のアクセスを制限するため合理的な注意を払うものとします。
5. 使用許諾の終了：本使用許諾は、早期に終了しない限り、2045 年 1 月 1 日まで有効です。お客様は、いつでも本ソフトウェア（関連する付属書類を含み）及び方式を問わずすべての複製あるいは修正を破棄することにより、本使用許諾を終了させることができます。お客様自身による終了も含め、契約の終了に際し、お客様は、本ソフトウェア及びその一部のコピーも含めすべてのコピーを廃棄しなくてはなりません。
6. データベースに適用される特別の条件：本ソフトウェアにデータベースが含まれている場合、ディスククリエーションのために本ソフトウェアを使用することに關して使用許諾がされているものであり、第 4 項の条項に従って、お客様はそのデータベースおよびそれから由来するすべてのデータの秘密を保持するものとすることを承諾します。この使用許諾は、お客様に、そのデータベースまたはデータを頒布したり、開示する権利を与えるものではありません。
7. 限定保証：Roxio およびそのライセンサーは、本ソフトウェアがお客様が購入後 30 日間、実質的に附属の書類に記載されているとおりの機能を有することを保証します。Roxio およびそのライセンサーは、本ソフトウェアおよび付属書類を使用することにより得られる結果に対して保証しません。上記は、Roxio およびそのライセンサーが保証の違反に対してお客様に与える唯一及び排他的な救済です。上記の限定保証以外に、Roxio およびそのライセンサーは、明示的にも黙示的にも、第三者の権利に関する非侵害性、市場適性、あるいは特定目的への適性に関して、いかなる保証も行ないません。法域によっては、黙示の保証についての排除ないし黙示的保証の存続期間に関する限定条項の適用を認めないことがあります。そのような場合には、上記の限定はお客様に適用にならない場合があります。本保証は、特別の法律上の権利を与えるものであり、お客様は、法域によって異なるその他の権利を有する場合もあります。

本保証に反する Roxio およびそのライセンサーの全責任およびお客様の唯一の救済は、(a) 上記の限定保証に合致しない本ソフトウェアの交換、(b) もし、Roxio またはそのディストリビュータが、本ソフトウェアを交換できない場合、お客様は、本ソフトウェアを返還するのと引き換えに代金は返還されます。お客様が、コンピュータハードウェアとバンドルされた本ソフトウェアを購入した場合、お客様は、本ソフトウェアをコンピュータハードウェアメーカーに返還する必要があります。

8. 損害責任の制限：Roxio ないしそのライセンサーは、いかなる状況であれ、Roxio ないしそのライセンサーに損害の可能性や苦情が告知されていたとしても、お客様ないしその他の第三者が被った逸失利益、データの損失を含め、あらゆる付随的損害、結果的損害、間接損害、またはその他の者からのいかなるクレームに対しても責任を負いません。法域によっては、特別損害、付随的損害、結果的損害の排除または限定が適用にならないことがあります。そのような場合には、上記の限定はお客様に適用にならない場合があります。
9. 輸出：お客様は、アメリカ合衆国およびその他の国の法律及び規則により、本ソフトウェアの輸出及び再輸出が規制されていることを認識しなければなりません。お客様は、いかなる形態であれ、アメリカ合衆国並びにそれ以外の外国法に違反した状態で、本ソフトウェアあるいは書類を輸出または再輸出しないことに同意するものとします。
10. 免責：Roxio は、本ソフトウェアの使用により、いかなる名目であれ、責任を負わないことにお客様は同意するものとします。お客様は、本ソフトウェアの使用または、本契約の条件に従わなかったことによって発生する第三者からのクレーム、損害、責任、費用（合理的な弁護士費用を含む）について、Roxio を免責し、補償するものとします。
11. アメリカ合衆国政府により規制された権利：本ソフトウェアは、次の制限に服します。本ソフトウェアが、GSA 契約による条件により取得された場合、その使用、複製または開示は、ADP スケジュール契約により、制限されます。もし、本ソフトウェアが、DoD（国防省）または民間機関による契約条件により、取得された場合、その使用、複製または開示は、連邦調達規則の 48 C.F.R. 12.212 及び DoDFAR 追加条項の 48 C.F.R. 227.7202-1 の条項により、本使用許諾の条件に服します。
12. 総則：お客様は、本契約を読み、理解し、本ソフトウェアを使用することにより、この条項に拘束されることに同意するものとします。本契約条項が、本使用許諾に関する Roxio とお客様との間の完全かつ唯一の合意であり、本契約の主題に関する Roxio とお客様との間の口頭または書面によるとを問わずすべての提案、過去の合意、その他のコミュニケーションに優先することに同意するものとします。本契約の条項の明確な放棄も含め、Roxio の役員による書面による同意がない限り、上記と異なる条件は、Roxio を拘束しません。お客様は、本ソフトウェアの使用に関して責任を有するものとし、本ソフトウェアを法律に従い、責任をもって使用することに同意します。本契約書は、連邦法によって規制される著作権条項を除き、カリフォルニア州法が準拠法となります。本契約は、両当事者により、カリフォルニア州ミルピタスにおいて、締結されたものとします。本契約書のいずれかの条項が、ある裁判管轄地において履行不可能とされた場合、同条項は本契約書より分離するものとみなされ、本書の他の条項には何の影響も及ばないものとします。本契約書において特に記載されていない本ソフトウェアに対する権利は全て Roxio が保有します。

本契約書に関する質問があれば、次の宛先までお問い合わせ下さい：

Roxio, Inc.
Legal Department
461 South Milpitas Boulevard,
Milpitas, California 95035
USA

目次

1 はじめに

Easy CD Creator の機能	2
システム要件	2
Easy CD Creator をアンインストールする	3
Easy CD Creator をインストールする	3
Easy CD Creator を起動する	4
Project Selector を活用する	4
使用するブランク CD の種類について	5
CD-R を使用する場合	5
CD-RW を使用する場合	5
CD に書き込める音楽またはデータ量	6

2 Easy CD Creator を使用した音楽 CD の作成

音楽 CD を作成する	8
CD レコーダだけで音楽 CD を作成する	10
編集音楽 CD を作成する	11
音楽 CD の作成ヒント	12
音楽 CD プロジェクトで、トラックを操作する	13
トラックをプレビューする	13
トラックを WAV または WMA ファイルに変換する	13
トラックを合成 (結合) する	15
合成トラックを分割する	15
CD タイトルとアーティスト名を編集する	15
トラック名を編集する	15
トラックの順序を変更する	15
音楽 CD プロジェクト画面からトラックを削除する	16
トラックを再生する	16
ステータス バーを表示する	17
CD 情報バーを表示する	18
CD プロジェクトを保存および開く	19

インターネットのオンライン音楽サービスにアクセスする	19
音楽 CD についての高度な設定	20
UPC を書き込む	20
ISRC 情報を入力する	20
3 Easy CD Creator を使用したデータ CD の作成	
データ CD を作成する	23
データ CD プロジェクト画面でファイルとフォルダを操作する	24
新規フォルダを作成する	24
ファイルとフォルダを削除する	25
ファイルとフォルダの名前を変更する	25
ファイルを検索する	25
ステータス バーを表示する	26
CD 情報バーを表示する	27
CD を消去する	27
CD プロジェクトを確認する	28
高度なデータ CD についてのトピック	28
マルチセッション CD を作成する	28
セッションを手動でインポートする	29
ブータブル CD を作成する	29
4 DirectCD を使用したデータ CD の作成	
DirectCD について	33
CD-R と CD-RW 技術を理解する	34
CD-RW 技術について	34
UDF v.1.5 について	34
DirectCD の用途	35
DirectCD を起動する	35
DirectCD フォーマットユーティリティ画面について	36
DirectCD のオプションを変更する	38
ファイルを CD にコピーする	41
初めてファイルを CD-R にコピーする	41
初めてファイルを CD-RW にコピーする	42
初めてファイルを DVD レコーダブルにコピーする	44

コピー方法	46
CD を取り出す	46
CD-R メディアを取り出す	46
CD-R の取り出しオプションを比較する	48
CD-RW または DVD レコーダブル メディアを取り出す	49
CD を読み出す	50
CD-R を読み出す	50
CD-RW を読み出す	51
DVD レコーダブルを読み出す	51
ファイルを追加および消去する	51
Easy CD Creator で作成した CD-R にファイルを追加する	51
他の CD にファイルを追加する	52
CD を消去する	52
個別のファイルを削除する	53
問題のある CD をチェックする	54
ScanDisc を起動する	54
ScanDisc の動作について	55
ファイルを復元する	56
ロスト ファイルを復元する	57
CD を修復する	58
損傷ファイルを復元する	59
DirectCD のトラブルシューティング	59
CD にコピーされたファイルが Windows エクスプローラ から見えない	59
読めない CD を修復する	60
5 CD Copier を使用した CD のコピー	
コピーできる CD の種類	62
CD-ROM ドライブをソース ドライブとして使用する	64
CD レコーダをソースおよびターゲット ドライブとして使用する	64
CD をコピーする	65
音楽 CD とミックスモード CD をコピーする	65
ハードディスク ドライブに CD をコピーする	65

複数枚のコピーを作成する	66
CD 情報プロパティ	67
CD レコーダまたは CD-ROM ドライブのプロパティ	67
6 Easy CD Creator のトラブルシューティング	
一般的な質問	68
CD-R を読み出せない	70
ヘルプを表示する	70
オンライン ヘルプ	70
Easy CD Creator オンライン サポート	71

索引

1

はじめに

この章では、以下について説明します。

- ▶ Easy CD Creator の機能 2
- ▶ システム要件 2
- ▶ Easy CD Creator をアンインストールする 3
- ▶ Easy CD Creator をインストールする 3
- ▶ Easy CD Creator を起動する 4
- ▶ 使用するブランク CD の種類について 5
- ▶ CD に書き込める音楽またはデータ量 6

Easy CD Creator 5 Basic は、オリジナルの CD を作成するソフトウェアです。マウスを数回クリックするだけで、家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤーで再生できる音楽 CD を、またコンピュータ データをハードディスク ドライブに保存すると同じように、ファイルやフォルダなどが保存されたデータ CD を作成できます。

Easy CD Creator 5 Basic には、以下の機能が用意されています。

- 他の音楽 CD やオーディオ ファイル (WAV、MP3 または WMA) などのソースから高品質の音楽 CD を作成します。
- コンピュータのデータをデータ CD に記録して保存します。
- 音楽 CD またはデータ CD のバックアップ コピーを作成します。

Easy CD Creator の機能

Easy CD Creator には、以下のプログラムが用意されています。

- Easy CD Creator : 他の CD や MP3 などから音楽 CD を作成します。また、データを共有したり保存するために、互換性に優れたフォーマットでデータ CD を作成します。
- DirectCD : フロッピーディスクまたはリムーバブル ディスクにファイルを書き込むように、CD-R や CD-RW にデータを直接書き込みます。
- CD Copier: 音楽 CD やデータ CD のバックアップ コピーを作成します。

システム要件

Easy CD Creator を正しく使用するには、以下のシステムが必要です。

- 200 MHz またはそれ以上のクロックで動作する IBM PC あるいは互換機
- Windows 95 / 98 / NT4 / 2000 / Me / XP の OS (Internet Explorer 4.0 以上が必要です。)
- 32 MB 以上の RAM (64 MB を推奨)
- 50 MB 以上のハードディスク空き容量
- CD-R または CD-RW ドライブ
- デジタル オーディオ抽出をサポートする CD-ROM ドライブ (他の音楽 CD から音楽 CD を作成する場合)
- ブランクの CD-R または CD-RW メディア
- 800 x 600 以上の解像度を持ち、256 色以上を表示できるディスプレイ (16 ビット以上のカラーを推奨)
- Windows 互換のサウンドカード (16 ビットまたはそれ以上)
- インターネット機能を利用する場合は、インターネットへのアクセス環境



メモ : システムのオペレーティング システムの各種設定変更やハードディスク ドライブの容量追加、ハードウェア コンポーネント ドライバの更新などが必要になる場合もあります。これらの調整作業は、お使いの機器によって異なります。

Easy CD Creator をアンインストールする

Easy CD Creator をアンインストールする場合は、Windows のコントロールパネルにあるアプリケーションの追加と削除のプロパティ ダイアログ ボックスで行ないます。

アプリケーションの追加と削除のプロパティ ダイアログ ボックスを表示するには：

- Windows のタスクバーにある**スタート** ボタンをクリックし、**設定**をポイントして**コントロール パネル**をクリックします。**アプリケーションの追加と削除**アイコンをダブルクリックします。

Easy CD Creator をインストールする

Easy CD Creator をインストールするには：

- 1 **Roxio Easy CD Creator 5 Basic** の CD を CD レコーダまたは CD-ROM ドライブに挿入します。




メモ： このガイドで使用している「CD レコーダ」とは、特に明記しない限り CD-R ドライブと CD-RW ドライブの両方を意味します。

システムにオートラン（自動起動）が設定されている場合は、「インストーション ウィンドウ」が自動的に表示され、以下の手順 2 と 3 を省略できます。

- 2 **スタート** ボタンをクリックし、**ファイル名を指定して実行**をクリックします。
- 3 「d:¥setup」と入力します（この「d」は、CD が挿入されている CD レコーダまたは CD-ROM ドライブに割り当てられているドライブ名で、システムによって異なります）。
- 4 「インストーション ウィンドウ」に表示されるインストール手順に従います。

Easy CD Creator を起動する

Easy CD Creator は、Easy CD Creator 5 の Project Selector から簡単に起動できます。Project Selector は、作成する CD の種類に適したアプリケーションを簡単に選択できるプロジェクトの選択パネルです。Project Selector にアクセスするには、以下のいずれかを行います。

- ブランク CD を CD レコーダに挿入します。
- Windows のタスクバーにある **スタート** ボタンをクリックして**プログラム**、**Roxio Easy CD Creator 5** の順にポイントし、**Project Selector** をクリックします。
- Windows のデスクトップにある **Project Selector** アイコンをダブルクリックします。
- Windows のタスクバーにある Project Selector アイコン  をダブルクリックします。



Project Selector を活用する

Project Selector を使用するには：

- 1 画面の左側にはアプリケーション ボタンが配置されています。各ボタン上にマウスのポインタを置くと、サブメニューとアプリケーションの説明が右側に表示されます。
- 2 使用するアプリケーションを起動するには、サブメニューのボタンをクリックします。



メモ： オプションが淡色表示されている場合、そのアプリケーションは Easy CD Creator 5 Basic に搭載されておりません。Easy CD Creator 5 Platinum にアップグレードしてインストールすることをお奨めします。

使用するブランク CD の種類について

使用できる書き込み可能メディア（CD-R）には2つの種類があります。

- CD-R メディア（CD-Recordable - 1 回だけ書き込み可能な CD メディア）
- CD-RW メディア（CD-ReWritable - 複数回書き込みおよび消去可能な CD メディア）

ブランクの CD-R または CD-RW メディア は、CD レコーダを購入したお店、またはコンピュータ取り扱い店で購入できます。

CD-R を使用する場合

CD-R は、ほとんどすべての CD-ROM ドライブと CD レコーダで読み出すことができます。CD-R は、記録するデータを長期に保存する場合に適しており、データを消去する必要がない場合に使用します。CD-R メディアの価格は、CD-RW メディアよりも廉価です。CD-R は以下の用途に適しています。

- 家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤーで再生する音楽 CD を作成する場合。
- 個人で楽しむ音楽を CD にコピーする場合。
- 大規模なプロジェクト ファイルを長期に亘って保存する場合。
- 子供の成長記録や写真、ビデオなどのファイルを永久保存する場合。

CD-RW を使用する場合

CD-RW は、CD-RW ドライブまたはマルチリード対応の CD-ROM ドライブで読むことができます。ほとんどの家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤーでは、CD-RW を再生できません。CD-RW は以下の用途に適しています。

- 既に CD に記録されている大容量ファイルを消去して、新しい情報に書き換える場合。
- 永久保存版の CD を作成する前に、CD の作成を練習する、または CD の内容を検証する場合。

CD に書き込める音楽またはデータ量

市販されているブランク CD メディアに書き込める実質容量は、各メディアによって僅かに異なります。74 分 CD と表示されている CD の中には、公称時間よりも 2 分ほど多く記録できるものがあります。Easy CD Creator は、CD の実容量一杯のデータや音楽を録音できます。使用できる CD-R メディアの公称容量は以下のとおりです。

- ブランク CD-R メディア：650 MB 容量 (74 分) と 700 MB 容量 (80 分)
- ブランク CD-RW メディア：650 MB 容量 (74 分)
- ブランク ミニ CD-R メディア：180 MB 容量 (21 分)

2

Easy CD Creator を使用した音楽 CD の作成

この章では、以下について説明します。

- ▶ 音楽 CD を作成する 8
- ▶ CD レコーダだけで音楽 CD を作成する 10
- ▶ 編集音楽 CD を作成する 11
- ▶ 音楽 CD の作成ヒント 12
- ▶ 音楽 CD プロジェクトで、トラックを操作する 13
- ▶ トラックを再生する 16
- ▶ ステータス バーを表示する 17
- ▶ CD 情報バーを表示する 18
- ▶ CD プロジェクトを保存および開く 19
- ▶ インターネットのオンライン音楽サービスにアクセスする 19
- ▶ 音楽 CD についての高度な設定 20

音楽 CD とは家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤーで音楽を再生するコンパクトディスクです。Easy CD Creator を使用すると、他の音楽 CD やハードディスク ドライブに保存されているオーディオ ファイル (WAV や WMA ファイルなど) からトラックを録音することでオリジナルの音楽 CD を作成できます。

音楽 CD は、

- 音楽 CD は音楽が録音されており、音楽を再生します。コンピュータデータが格納されているデータ CD とは異なります。
- 家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤーの他に、CD-ROM ドライブや CD レコーダが接続されたコンピュータでも音楽 CD を再生できます (Windows CD Player などのプログラムが必要です)。
- Easy CD Creator を使用すると、一般に 99 トラックまでの最大 74 分または 80 分の音楽を録音できる音楽 CD を作成できます。
- Easy CD Creator を使用すると、他の音楽 CD やオーディオ ファイルのトラックを持つオリジナルな編集音楽 CD を作成できます。

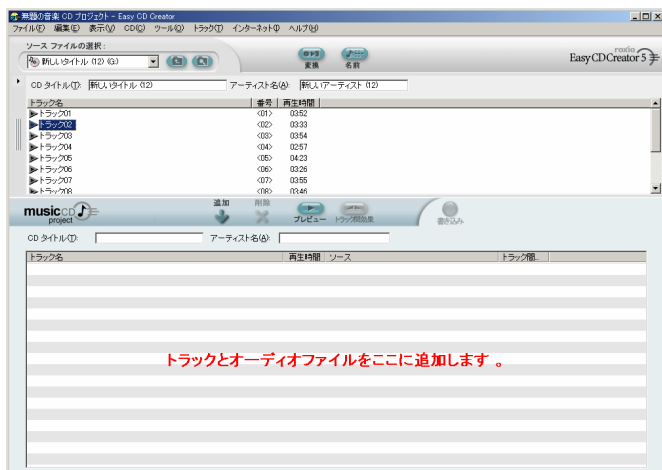
音楽 CD を作成する

音楽 CD を作成するには：

- 1 新しい音楽 CD プロジェクト画面を開きます。ファイル メニューの **CD プロジェクトの新規作成** をポイントし、**音楽 CD** をクリックします。無題の音楽 CD プロジェクト画面が表示されます。

音楽ソース
ウィンドウ

音楽 CD プロジェクト



- 2 ブランク の CD を CD レコーダ（録音先ドライブ）に挿入します。
- 3 録音する音楽トラックを**音楽 CD プロジェクト**画面に追加します（オーディオ ファイルだけを録音する場合は、手順 4 に進みます）。



メモ：音楽トラックや WAV、MP3、WMA ファイルを組み合わせて音楽 CD プロジェクト画面に追加できます。最大 99 トラックとファイル、あるいは最大 650 MB（74 分 CD）または 700 MB（80 分 CD）のトラックとファイルを音楽 CD プロジェクト画面に追加できます。

- a 音楽 CD を CD-ROM ドライブ（音楽ソース ドライブ）に挿入します。
- b **ソース ファイルの選択**ボックスで、音楽 CD が挿入されている CD-ROM ドライブを選択します。「音楽ソース」ウィンドウに CD 内のトラックが一覧されます。



メモ：音楽 CD についての情報がハードディスク ドライブに格納されている場合は、CD タイトルやアーティスト名、各トラックの名前が「音楽ソース」ウィンドウに表示されます。この情報が表示されず、かつインターネットにアクセスできる環境がある場合は、**名前**をクリックするとこの情報をオンライン音楽サービスからダウンロードできます。

- c 「音楽ソース」ウィンドウでトラックをクリックし（複数のトラックを選択するには、**Ctrl** キーや **Shift** キーを押しながらか選択するすべてのトラックをクリックします）、**追加**をクリックします。**音楽 CD プロジェクト**画面にトラックが追加されます。



メモ：手順 a から c を繰り返すと、複数の CD からトラックを音楽 CD プロジェクト画面に追加できます（これは、音楽を編集して CD を作成する際にとっても便利です）。実際の録音処理中に、録音するトラックがある音楽 CD の挿入指示メッセージが表示されます。

- 4 録音するオーディオファイルを音楽 CD プロジェクト画面に追加します。
 - a **ソースファイルの選択**ボックスで、ファイルが格納されているフォルダをクリックします。フォルダ内にあるすべてのオーディオファイルが「音楽ソース」ウィンドウに表示されます。
 - b 「音楽ソース」ウィンドウでファイルをクリックし（複数のファイルを選択するには、**Ctrl** キーや **Shift** キーを押しながら選択するすべてのファイルをクリックします）、**追加**をクリックします。音楽 CD プロジェクト画面にファイルが追加されます。
- 5 **書き込み**をクリックします。**CD 書き込みセットアップ** ダイアログボックスが表示されます。
- 6 **書き込みの開始**をクリックします。

CD レコーダだけで音楽 CD を作成する

他の音楽 CD から音楽 CD を作成する場合は、一般にデジタル オーディオ抽出が可能な CD-ROM ドライブと CD レコーダを使用します。CD レコーダしかない場合は、以下のいずれかの方法で他の音楽 CD からトラックを録音します。

- **最初に音楽 CD のトラックをハードディスク ドライブに保存する**：この方法は、音楽 CD の各トラックをハードディスク ドライブのオーディオファイル（WAV、MP3、または WMA）に変換する必要があります。一度ハードディスク ドライブに保存すると、一般の音楽 CD のようにオーディオファイルを音楽 CD プロジェクト画面に追加して録音できます。13 ページの「トラックを WAV または WMA ファイルに変換する」を参照してください。



メモ：この方法は、CD-ROM ドライブと CD レコーダの両方を持っている場合も利用できます。

- **CD レコーダ内の CD を交換する**：この方法は、通常音楽 CD のようにトラックを音楽 CD プロジェクト画面に追加して書き込みを行いません。録音するトラックを持つ音楽 CD を挿入したり、再挿入する必要があります。8 ページの「音楽 CD を作成する」を参照してください。

編集音楽 CD を作成する

編集音楽 CD とは、他の音楽 CD やオーディオファイル (WAV、MP3、WMA) などのさまざまな音楽ソースから曲を抽出し、それらを組み合わせて作成した音楽 CD です。Easy CD Creator を使用すると、一般の音楽 CD の作成と同じように編集音楽 CD を作成できます。編集音楽 CD の作成に関するヒントについて、以下に説明します。

- **インターネットから CD タイトルとアーティスト名、トラック名、トラック長を取得する**：市販の音楽 CD からトラックを録音する場合、市販の音楽 CD や CD タイトルとアーティスト名、トラック名、トラック長などの情報をインターネットのオンライン音楽サービスから自動的に取得できます。19 ページの「インターネットのオンライン音楽サービスにアクセスする」を参照してください。この情報によって、Easy CD Creator は CD を識別します。



メモ：インターネットにアクセスができないときは、手動で各音楽 CD の CD タイトルやアーティスト名、トラック名を入力します。15 ページの「CD タイトルとアーティスト名を編集する」と 15 ページの「トラック名を編集する」を参照してください。

- **音楽 CD プロジェクト画面で CD タイトルとアーティスト名を付ける**：CD に録音する前に、音楽 CD プロジェクト画面で CD タイトルとアーティスト名を入力して CD に名前を付けることができます。15 ページの「CD タイトルとアーティスト名を編集する」を参照してください。
- **音楽 CD を挿入および再挿入する**：音楽 CD からトラックを録音している場合、実際の録音処理中に、録音するトラックが入っている音楽 CD を挿入するように指示されます。異なる CD から複数のトラックがある場合、指示に従って録音ソース ドライブから CD を取り出したり再挿入する準備をしておきます。他の方法として、最初に音楽 CD からのトラックをハードディスク ドライブに記録してから録音します。
- **最初に音楽 CD のトラックをハードディスク ドライブに保存する**：この方法は、ハードディスク ドライブに保存する前に音楽 CD の各トラックをオーディオファイル (WAV または WMA) に変換する必要があります。一度ハードディスク ドライブに保存すると、通常の音楽 CD のようにオーディオファイルを音楽 CD プロジェクト画面に追加して録音できます。13 ページの「トラックを WAV または WMA ファイルに変換する」と 8 ページの「音楽 CD を作成する」を参照してください。

音楽 CD の作成ヒント

音楽 CD の作成に関するヒントを以下に説明します。

- **CD Copier を使用して音楽 CD 全体をコピーする**：CD Copier を使用すると、音楽 CD の最初から最後までを丸ごとコピーできます。第 5 章『CD Copier を使用した CD のコピー』を参照してください。
- **トラックを WAV または WMA フォーマットに変換する**：市販の音楽 CD をハードディスク ドライブに保存するには、トラックを WAV または WMA オーディオフォーマットに変換します。一度ハードディスク ドライブに保存すると、通常の音楽 CD のようにオーディオ ファイルを音楽 CD プロジェクト画面に追加して録音できます。13 ページの「トラックを WAV または WMA ファイルに変換する」を参照してください。
- **インターネットから CD タイトルやアーティスト名、トラック名、トラック長を取得する**：Easy CD Creator を使用すると、市販の音楽 CD のタイトルやアーティスト名、トラック名をオンライン音楽サービスから取得できます。19 ページの「インターネットのオンライン音楽サービスにアクセスする」を参照してください。
- **音楽 CD プロジェクト画面で CD タイトルやアーティスト名を付ける**：CD に録音する前に、音楽 CD プロジェクト画面で CD タイトルとアーティスト名を入力することで CD に名前を付けることができます。
- **ディスクアットワンス (DAO) モードで書き込んで、トラック間の 2 秒のギャップを除去する**：音楽トラック間に 2 秒のギャップを挿入する場合は、**ディスクアットワンス** コマンドを使用して音楽 CD を録音します。**CD 書き込みセットアップ** ダイアログ ボックスで**ディスクアットワンス** オプションを選択します。
- **トラックをプレビューする**：CD に録音する前に、トラックの録音状態を試聴できます。トラックに加えた効果を確認するのに便利です。トラックのプレビューを参照してください。
- **音楽 CD プロジェクト画面のデータを保存する**：音楽 CD プロジェクト内のデータを保存し、後で CD に録音できます。音楽 CD プロジェクトのデータを保存する場合、音楽 CD プロジェクト画面に表示するトラックとファイルのインデックス データだけが保存されます。19 ページの「CD プロジェクトを保存および開く」を参照してください。

音楽 CD プロジェクトで、トラックを操作する

音楽 CD プロジェクト画面にトラックを追加すると、以下が可能になります。

- トラックをプレビューする
- トラックを WAV または WMA ファイルに変換する
- トラックを合成（結合）する
- 合成されたトラックを分割する
- CD タイトルとアーティスト名を編集する
- トラック名を編集する
- トラック順序を変更する
- 音楽 CD プロジェクトからトラックを削除する

トラックをプレビューする

CD に録音されたトラックを聴いているのと同じ条件でトラックを試聴できます。特に、トラックに何らかの効果を加えている場合に有用です。



メモ：トラックを試聴する場合は、サウンドカードとスピーカーが必要です。

トラックをプレビューするには：

- 1 **音楽 CD プロジェクト**画面で試聴するトラックを選択します。
- 2 **プレビュー**をクリックします。Easy CD Creator の CD プレーヤが表示され、選択したトラックの再生が始まります。

トラックを WAV または WMA ファイルに変換する

Easy CD Creator を使用すると、市販の音楽 CD をハードディスクドライブに保存できます。保存するトラックに名前を付け、フォーマット（WAV または WMA）と音質（例えば CD レベルの音質など）を選択できます。

市販の音楽 CD のトラックを変換するには：

- 1 新しい音楽 CD プロジェクト画面を開きます。**ファイル**メニューの **CD プロジェクトの新規作成**をポイントし、**音楽 CD** をクリックします。

- 2 変換する音楽トラックの入った音楽 CD を CD-ROM ドライブ（ソースドライブ）に挿入します。
- 3 **ソース ファイルの選択**ボックスで、音楽 CD が入っている CD-ROM ドライブをクリックします。CD 内のトラックが「音楽ソース」ウィンドウに一覧されます。



メモ：音楽 CD に関する情報がハードディスク ドライブ上にある場合は、CD タイトルやアーティスト名、各トラック名が「音楽ソース」ウィンドウに表示されます。この情報が表示されない場合で、インターネットにアクセスができる場合は**名前**をクリックするとオンライン音楽サービスから情報をダウンロードできます。

- 4 「音楽ソース」ウィンドウで、変換するトラックをクリックします。
- 5 **変換**をクリックします。**オーディオトラックの変換**ダイアログボックスが表示されます。
- 6 **保存する場所**ボックスで、ファイルの保存先を選択します。
- 7 **ファイル名**ボックスにファイル名を入力します。
- 8 **ファイルの種類**ボックスで、フォーマットの種類を選択します。
 - WAV
 - WMA
- 9 **フォーマット**ボックスでトラックの音質を選択し、**保存**をクリックします。使用できるオプションは、システムによって異なります。一般に、高音質を設定するとファイルのサイズが大きくなります。



メモ：**オーディオトラックの変換**ダイアログボックスで**オプション**をクリックするとオプションが表示され、**オプションの非表示**をクリックするとオプションは表示されません。

トラックを合成（結合）する

合成トラックとは、複数のトラックで構成されている単一のトラックです。

合成トラックを作成するには：

- 1 結合するトラックを2つ以上選択します。
- 2 **トラック** メニューの**トラックの合成**をクリックします。

1つに結合された単一のトラックが音楽 CD プロジェクト画面に表示されます。

合成トラックを分割する

合成トラックとは、複数のトラックで構成された単一のトラックです。

合成トラックを分割するには：

- 1 分割する合成トラックをクリックします。
- 2 **トラック** メニューの**トラックの分割**をクリックします。合成トラックは、音楽 CD プロジェクト画面で複数のトラックに分割されて表示されます。

CD タイトルとアーティスト名を編集する

CD タイトルとアーティスト名を入力して、作成している音楽 CD を識別できます。

- **CD タイトル** ボックスまたは**アーティスト名**ボックス内をクリックし、新しい名前を入力します。

トラック名を編集する

音楽 CD プロジェクト画面でトラック名を変更するには：

- 1 音楽 CD プロジェクト画面で、編集するトラック名を右クリックします。
- 2 **名前の変更**をクリックします。
- 3 新しいトラック名を入力します。

トラックの順序を変更する

音楽 CD プロジェクト画面で表示されるトラックの順序が、CD に書き込まれる順序です。

トラック順序を変更するには：

- 順序を変更するトラックを、変更先の位置（順序）にドラッグアンドドロップします。

音楽 CD プロジェクト画面からトラックを削除する

音楽 CD プロジェクト画面からトラックを削除しても、録音する音楽 CD 内のトラックまたはハードディスク ドライブに保存されている WAV や MP3、WMA ファイルは削除されません。

音楽 CD プロジェクト画面からトラックを削除するには：

- 1 音楽 CD プロジェクト画面で、削除するトラックをクリックします。
- 2 **削除**をクリックします。

トラックを再生する

Easy CD Creator の CD プレーヤを使用すると、トラックやオーディオ ファイルを再生できます。



メモ：トラックやオーディオ ファイルを再生する場合は、サウンドカードとスピーカーが必要です。音楽 CD のトラックを再生するには、サウンドカードと CD レコーダまたは CD-ROM ドライブ（ソース ドライブ）がオーディオ ケーブルで接続されている必要があります。

トラックを再生するには：

- 1 音楽 CD を CD-ROM ドライブ（ソース ドライブ）に挿入します。
- 2 **ソース ファイルの選択**ボックスで、音楽 CD が入っている CD-ROM ドライブをクリックします。CD 内のソーストラックが「音楽ソース」ウィンドウに一覧されます。



メモ：音楽 CD に関する情報がハードディスク ドライブ上にある場合は、CD タイトルやアーティスト名、各トラック名が「音楽ソース」ウィンドウに表示されます。この情報が表示されない場合で、インターネットにアクセスできる場合は**名前**をクリックしてオンライン音楽サービスから情報をダウンロードできます。

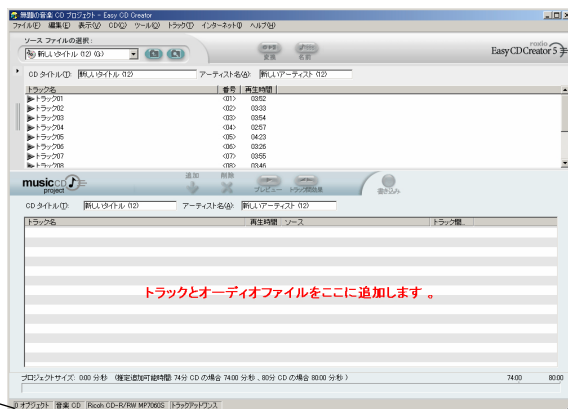
- 3 「音楽ソース」ウィンドウで試聴するトラックを選択し、**プレビュー**をクリックします。Easy CD Creator の CD プレーヤが表示され、トラックの再生が始まります。

ハードディスク ドライブ内のオーディオ ファイル (WAV、MP3、WMA) を再生するには：

- 1 **ソース ファイルの選択** ボックスで、オーディオファイルが入っているフォルダをクリックします。フォルダ内のオーディオファイルが「音楽ソース」ウィンドウに表示されます。
- 2 「音楽ソース」ウィンドウで試聴するオーディオファイルを選択し、**プレビュー**をクリックします。Easy CD Creator の CD プレーヤが表示され、トラックの再生が始まります。

ステータス バーを表示する

音楽 CD プロジェクト画面の最下部にあるステータス バーには、選択したコマンドまたはボタンの機能についての情報が表示されます。



ステータス バー

音楽 CD プロジェクト画面に関する以下の情報も表示されます。

- 音楽 CD プロジェクト画面内にあるファイル、フォルダまたはトラックの数
- CD の種類 (**CD プロジェクト プロパティ** ダイアログ ボックスを表示するには、このフィールドをダブルクリックします。)
- ファイル システムのオプション - **Joliet** または **ISO 9660** (このフィールドをダブルクリックすると、**CD プロジェクト プロパティ** ダイアログ ボックスが表示されます。)

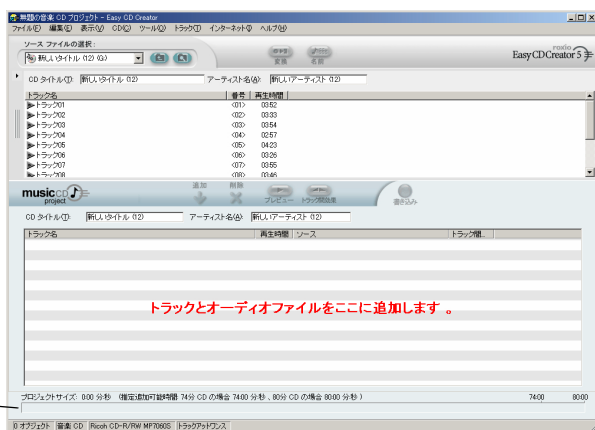
- CD レコーダ（このフィールドをダブルクリックすると、**CD ドライブ プロパティ** ダイアログ ボックスが表示されます。）
- 書き込み方法 — **ディスクアットワンス (DAO)** または **トラックアットワンス (TAO)**（このフィールドをダブルクリックすると、DAO と TAO が交互に切り替わります。）

ステータス バーを表示または非表示にするには：

- **表示メニューのステータス バー**をクリックすると、横にチェックマークが付いてステータス バーが表示されます。チェックマークが付いた **ステータス バー**をクリックするとステータス バーが非表示になります。

CD 情報バーを表示する

音楽 CD プロジェクト画面の最下部にある CD 情報バーには、CD の空き領域が表示されます。単位は「分」と「秒」です。



CD 情報バー

CD 情報バーを表示または非表示にするには：

- **表示メニューの CD 情報バー**をクリックすると、横にチェックマークが付いて CD 情報バーが表示されます。チェックマークが付いた **CD 情報バー**をクリックするとステータス バーが非表示になります。

CD プロジェクトを保存および開く

CD プロジェクト（音楽、データ、MP3、エンハンスド CD、ミックスモード、またはブータブル CD）を作成して保存できます。これは、後で CD に録音できます。



メモ：音楽 CD プロジェクト画面上のデータを保存する場合、音楽 CD プロジェクト画面に表示するトラックとファイルのインデックス データだけを記録したファイルが保存されます。

CD プロジェクトを保存するには：

- 1 **ファイル** メニューの**プロジェクト リストを名前を付けて保存**をクリックします。
- 2 ファイル名を入力し、保存する場所を選択します。
- 3 **保存**をクリックします。

CD プロジェクトを開くには：

- 1 **ファイル** メニューから、**CD プロジェクトを開く**をクリックします。
- 2 開く CD プロジェクトファイル（「.cl5」の拡張子が付いています）を選択します。
- 3 **開く**をクリックします。

インターネットのオンライン音楽サービスにアクセスする

インターネットにアクセスできる場合は、オンライン音楽サービスが利用できます。インターネットにアクセスして、CD タイトルやアーティスト名、トラック名、トラック長などの市販されている音楽 CD に関する情報を自動的に取得できます。

オンライン音楽サービスにアクセスするには：

- 1 音楽 CD を CD-ROM ドライブ（ソース ドライブ）に挿入します。
- 2 **ソース ファイルの選択**ボックスで、音楽 CD が挿入されている CD-ROM ドライブを選択します。CD 内のトラックが「音楽ソース」ウィンドウに一覧されます。



メモ：音楽 CD に関する情報がハードディスク ドライブ内にある場合は、CD タイトルやアーティスト名、各トラック名、トラック長が「音楽ソース」ウィンドウに表示されません。この情報が表示されず、インターネットにアクセスができる場合は、手順3に進みます。

3 名前をクリックします。

インターネットに接続していない場合は、接続を求めるメッセージが表示されます。既にインターネットに接続している場合は、オンライン音楽サービスにアクセスします。データベースでその CD が見つかった場合、CD タイトルやアーティスト名、トラック名、トラック長が「音楽ソース」ウィンドウに表示されます。

音楽 CD についての高度な設定

UPC を書き込む

Easy CD Creator を使用すると、各トラックを識別する UPC (universal product code - 市販の CD では必ず付いています) を書き込めます。UPC は、**CD プロジェクト プロパティ** ダイアログ ボックスで入力します。

CD プロジェクト プロパティ ダイアログ ボックスを表示するには：

- **ファイル** メニューの **CD プロジェクト プロパティ** をクリックします。

CD プロジェクト プロパティ ダイアログ ボックスが表示されます。プロパティについての詳細を参照するには、このダイアログ ボックスの **ヘルプ** をクリックします。

ISRC 情報を入力する

Easy CD Creator を使用すると、作成する音楽 CD に ISRC (International Standard Recording Code) 情報を書き込めます。この情報には、各トラックの所有者や作成した国、年などが含まれています。ISRC 情報は、**オーディオトラック プロパティ** ダイアログ ボックスから入力します。

オーディオトラック プロパティ ダイアログ ボックスを表示するには：

- 1 音楽 CD プロジェクト画面で、ISRC 情報を表示するトラックを右クリックします。
- 2 **プロパティ** をクリックします。

オーディオトラック プロパティ ダイアログ ボックスが表示されます。プロパティについての詳細を参照するには、このダイアログ ボックスの**ヘルプ**をクリックします。

3

Easy CD Creator を使用したデータ CD の作成

この章では、以下について説明します。

- ▶ データ CD を作成する 23
- ▶ データ CD プロジェクト画面でファイルとフォルダを操作する 24
- ▶ ステータス バーを表示する 26
- ▶ CD 情報バーを表示する 27
- ▶ CD を消去する 27
- ▶ CD プロジェクトを確認する 28
- ▶ 高度なデータ CD についてのトピック 28

データ CD とは、コンピュータ データを記録したコンパクト ディスク (CD) のことです。Easy CD Creator を使用すると、ハードディスク ドライブに保存されているファイルやフォルダを書き込んでデータ CD を作成できます。

ここでは、データ CD の基礎知識について説明します。

- 音楽 CD とは異なり、データ CD はデータの保存を目的とした CD で、家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤーでは再生できません。

- データ CD は、一般に 74 分のブランク CD-R または CD-RW メディアの場合は 650 MB までのデータ、80 分のブランク CD-R メディアの場合は 700 MB までのデータを記録できます。
- データ CD は、コンピュータに接続されている CD-ROM ドライブまたは CD レコーダからアクセスします。
- データ CD は、表計算や経理関連データなどの重要なファイルのバックアップや保管に最適です。
- データ CD は、マルチメディアを駆使したプレゼンテーションやグラフィックファイル、CAD データ、インターネットからダウンロードしたデータ、Web サイト、社内文書などを社内でも共有する場合などにも適しています。

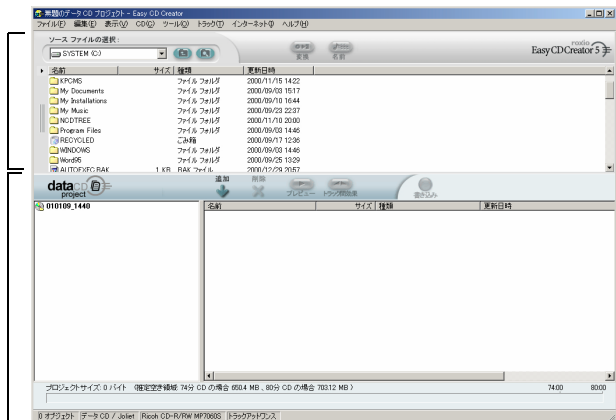
データ CD を作成する

データ CD を作成するには：

- 1 新しいデータ CD プロジェクト画面を開きます。**プロジェクトの選択**画面で**データ CD の作成**をクリックし、次に **data CD project** をクリックします。**無題のデータ CD プロジェクト**画面が表示されます。

ソースウィンドウ

データ CD プロジェクト



- 2 ブランクの CD を CD レコーダ（書き込み先ドライブ）に挿入します。
- 3 **ソース ファイルの選択**ボックスで、ファイルが入っているフォルダをクリックします。フォルダ内にあるファイルがソース ウィンドウに表示されます。
- 4 「ソース」ウィンドウで追加するファイルをクリックし（複数のファイルを選択するには、**Ctrl** キーまたは **Shift** キーを押しながら選択するすべてのファイルをクリックします）、**追加**をクリックします。データ CD プロジェクト画面にファイルが追加されます。



メモ：データ CD プロジェクト画面には、650 MB（74 分 CD の場合）または 700 MB（80 分 CD の場合）までのファイルとフォルダを追加できます。

- 5 **書き込み**をクリックします。**CD 書き込みセットアップ** ダイアログボックスが表示されます。
- 6 **書き込みの開始**をクリックします。

データ CD プロジェクト画面でファイルとフォルダを操作する

データ CD プロジェクト画面にファイルを追加した後は、以下の操作が可能になります。

- 新しいフォルダの作成
- ファイルとフォルダの削除
- ファイル名とフォルダ名の変更
- ファイルの検索

新規フォルダを作成する

データ CD プロジェクトにフォルダを新規作成し、その新規フォルダにファイルとフォルダを追加できます。

新規フォルダを作成するには：

- **編集メニューのフォルダの新規作成**をクリックします。

ファイルとフォルダを削除する

データ CD プロジェクト画面でファイルまたはフォルダを削除しても、ハードディスク ドライブから元のファイルやフォルダが削除されるわけではありません。

データ CD プロジェクト画面でファイルまたはフォルダを削除するには：

- 1 **データ CD プロジェクト**画面で、削除するファイルまたはフォルダをクリックします。
- 2 **削除**をクリックします。
- 3 **はい**をクリックします。

ファイルとフォルダの名前を変更する

データ CD プロジェクト画面でファイル名やフォルダ名を変更できます。**データ CD プロジェクト**で名前を変更しても、ハードディスク ドライブ上のファイルやフォルダの元の名前が変更されるわけではありません。

ファイルまたはフォルダの名前を変更するには：

- 1 **データ CD プロジェクト**画面で、編集するファイルまたはフォルダを右クリックします。
- 2 **名前の変更**をクリックします。
- 3 新しい名前を入力します。

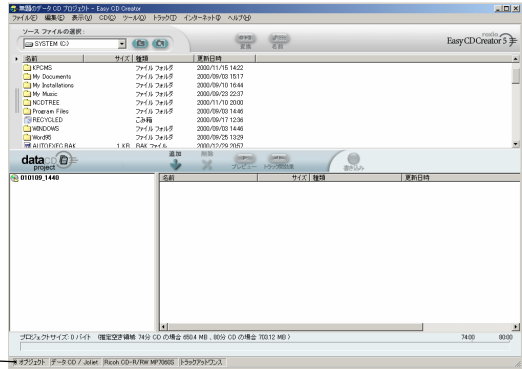
ファイルを検索する

システム内にあるファイルを検索するには：

- 1 「ソース」ウィンドウで、**ファイルの検索**をクリックします。
- 2 **名前**ボックスに検索するファイル名を入力します。
- 3 **探す場所**ボックスで、ファイルを検索する場所（ドライブまたはフォルダ）を選択します。
- 4 **検索開始**をクリックします。

ステータス バーを表示する

データ CD プロジェクトの最下部にあるステータス バーには、選択したコマンドまたはボタンの機能を説明する情報が表示されます。



ステータス バー

データ CD プロジェクトに関する以下の情報も表示されます。

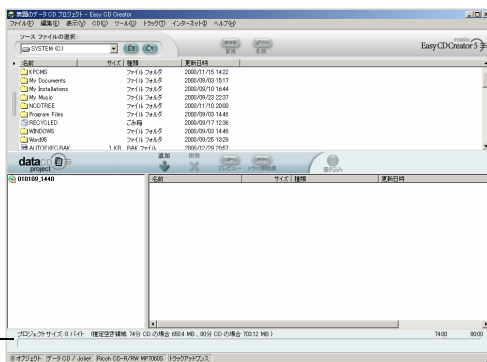
- データ CD プロジェクトのファイル、フォルダまたはトラックの数
- CD の種類 (このフィールドをダブルクリックすると、**CD プロジェクト プロパティ** ダイアログ ボックスが表示されます。)
- ファイル システム オプション — **Joliet** または **ISO 9660** (このフィールドをダブルクリックすると、**CD プロジェクト プロパティ** ダイアログ ボックスが表示されます。)
- CD レコーダ (このフィールドをダブルクリックすると、**CD ドライブ プロパティ** ダイアログ ボックスが表示されます。)
- 書き込み方法 — **ディスクアットワンス (DAO)** または **トラックアットワンス (TAO)** (このフィールドをダブルクリックすると、DAO と TAO が交互に切り替わります。)

ステータス バーを表示または非表示にするには：

- **表示メニューのステータス バー**をクリックすると、横にチェックマークが付いてステータス バーが表示されます。チェックマークが付いた**ステータス バー**をクリックするとステータス バーは非表示になります。

CD 情報バーを表示する

データ CD プロジェクト画面の最下部にある CD 情報バーには、CD の空き領域が MB 単位で表示されます。



CD 情報バー

CD 情報バーを表示または非表示にするには：

- **表示メニューの CD 情報バー**をクリックすると、横にチェックマークが付いた CD 情報バーが表示されます。チェックマークが付いた **CD 情報バー**をクリックすると、CD 情報バーは非表示になります。

CD を消去する

CD-RW レコーダ内にある CD-RW メディアの内容を消去するには、以下の手順を実行します。



メモ：CD-R は消去できません。

- 1 「ソース」ウィンドウで、消去する CD-RW メディアが挿入されているドライブをクリックします。
- 2 **CD**メニューの**CD の消去**をクリックします。

CD プロジェクトを確認する

CD プロジェクトの内容を CD に書き込む前に、CD プロジェクトにソースの内容を追加した後にその内容が移動、削除、名前の変更または変更されていないことを確認します。内容の一部に変更があった場合、Easy CD Creator はプロジェクトを書き込む前にこの項目を CD プロジェクトから削除するように指示するメッセージを表示します。

CD プロジェクトを確認するには：

- **ファイル** メニューの**プロジェクトの確認**をクリックします。

高度なデータ CD についてのトピック

マルチセッション CD を作成する

セッションとは、1 つ以上の音楽またはデータトラックが記録された CD 上の領域です。CD には、1 つだけのセッションを持つもの（ほとんどの音楽 CD）と複数のセッションを持つもの（マルチセッション CD）があります。



メモ：音楽 CD をマルチセッションで作成するのは推奨しません。ほとんどの家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤは、最初のセッションに書き込まれているトラックしか再生できません。

マルチセッション CD を作成するには：

- 1 最初のセッションを書き込むには、23 ページの「データ CD を作成する」に説明されている手順で行います。実際の書き込みを開始する前に、以下の手順を行ないます。
 - **ファイル** メニューの **CD プロジェクト プロパティ** をクリックすると、**CD プロジェクト プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、**モード (2) : CD-ROM XA** をクリックします。
 - **書き込み** をクリックすると **CD 書き込みセットアップ** ダイアログボックスが表示されます。**オプション** をクリックすると書き込み方法の詳細が表示されますので、**トラックアットワンス** と **セッションの終了処理をする、CD はしない** をクリックします。

- 2 CD に追加するセッションの準備ができれば、デフォルトの CD レコーダに CD が挿入されていることを確認します。**データ CD プロジェクト**画面にデータを追加する前に、以下の手順を行います。
 - **CD プロジェクト プロパティ** ダイアログ ボックスで、**前のセッションを自動的にインポートする** チェック ボックスをオンにします。これで、CD に書き込まれた最終セッションに新しいセッションがリンクされます。
- 3 23 ページの「データ CD を作成する」に説明されている手順に従います。データを**データ CD プロジェクト**画面に追加すると、前のセッションからのデータは**データ CD プロジェクト**画面に自動的にインポートされます。
- 4 「データ CD を作成する」に説明されている手順を行います。

セッションを手動でインポートする

マルチセッション CD 内にある特定のセッションを**データ CD プロジェクト**画面にインポートするには、以下の手順に従います。

- 1 デフォルトの CD レコーダにマルチセッション CD を挿入します。
- 2 **CD** メニューの**セッションのインポート**をクリックします。
- 3 インポートするセッションをリストから選択し、**インポート**をクリックします。



メモ： CD に書き込まれた最終セッション以外のセッションをインポートすると、インポートしないセッションにアクセスできなくなります。

ブータブル CD を作成する

Easy CD Creator を使用すると、コンピュータを起動できるブータブル CD を作成できます。ブータブル CD には、コンピュータが起動するために必要なすべてのオペレーティング システムのプログラムと関連コンポーネントが収録されています。ブータブル CD には、起動フロッピーディスクと同じ内容が書き込まれます。ブータブル CD を作成するには、起動フロッピーディスクまたはハードディスク ドライブ イメージが必要です。



メモ：ブータブル CD-ROM の作成は、コンピュータの知識と経験が豊富なユーザー向けに提供されている機能です。

起動フロッピーディスクの作成方法や DOS の *config.sys* と *autoexec.bat* の作成と編集、DOS のデバイス ドライバなどについての理解を必要とします。

ブータブル CD を作成するには、次ページの説明に従ってください。

システムがブータブル CD に対応しているかを確認する

ブータブル CD からシステムを起動するには、システム自体がブータブル CD 機能をサポートしている必要があります。

システムがブータブル CD に対応していることを確認するには

- システムの BIOS 設定をチェックし、ブータブル CD-ROM サポート オプションを有効にします。Pentium 以降のプロセッサを採用しているシステムでは、ほとんどこの機能をサポートしています。
- CD-ROM ドライブが SCSI ホストアダプタに接続され、SCSI ホストアダプタに BIOS が搭載されている場合は、ホストアダプタがブータブル CD からの起動をサポートしていることをマニュアルで確認してください。サポートされている場合は、有効になっていることを確認してください。

Easy CD Creator を使用してブータブル CD を作成する

ブータブル CD を作成および使用するには：

- 1 ブランク CD を CD レコーダ（書き込み先ドライブ）に挿入します。
- 2 新しいブータブル CD プロジェクトを作成します。ファイルメニューの **CD プロジェクトの新規作成** をポイントし、**ブータブル CD** をクリックします。**ブータブル CD の種類の選択** ダイアログボックスが表示されます。
- 3 ブータブル CD の種類をクリックします。
 - **フロッピーディスク エミュレーション (1.44 MB)**：このオプションを選択すると、特定のオペレーティングシステムでシステムを起動し、CD のフォーマット（通常は ISO 9660）を認識できるデバイス ドライバをロードするブータブル CD を作成します（起動フロッピーディスクが必要です。31 ページの「**起動フロッピーディスクを作成する**」を参照してください）。

- **フロッピーディスク エミュレーション (2.88 MB)** : このオプションを選択すると、特定のオペレーティング システムでシステムを起動し、CD のフォーマット (通常は ISO 9660) を認識できるデバイス ドライバをロードするブータブル CD を作成します (起動フロッピーディスクが必要です。31 ページの「起動フロッピーディスクを作成する」を参照してください)。
 - **ハードディスク エミュレーション** : このオプションを選択すると、MS-DOS 互換領域を持つ CD-ROM を作成します。この MS-DOS 領域にプログラムが常駐してデータにアクセスします。
 - **エミュレーションなし** : このオプションを選択すると、フロッピーディスクまたはハードディスク ドライブをエミュレートする CD を作成しません。
- 4 前述のブータブル CD の種類に応じて、エミュレーションを選択します。
 - 5 **OK** をクリックします。後は表示される指示に従ってください。
 - 6 **ブータブル CD プロジェクト** 画面が表示されたら、データ CD を作成するときと同じ手順で Easy CD Creator を使用してブータブル CD を作成します。



メモ : ブータブル CD を作成した後は、この CD を使用してシステムの起動をテストします。システムの BIOS で**ブータブル CD-ROM** が有効になっていることを確認してから、作成したブータブル CD を CD-ROM ドライブに挿入し、システムの電源を投入します。正しく動作した場合は、ブータブル CD が正しく作成されたことを意味します。

起動フロッピーディスクを作成する

作成するフロッピーディスクは、起動をするシステムによって異なります。フロッピーディスクは、DOS FORMAT コマンド (FORMAT A: /S) でフォーマットされ、「config.sys」および「autoexec.bat」ファイルがコピーされている必要があります。

一般に、「config.sys」ファイルには使用している DOS CD-ROM ドライバをロードする命令が記述され、「autoexec.bat」ファイルには Microsoft 社の DOS CD-ROM ドライバ (「mscdex.exe」) をロードする命令が記述されています。

DOS CD-ROM ドライバと「mscdex.exe」のロード方法については、お使いのシステムのマニュアルを参照してください。ブータブル CD を作成する前に、起動フロッピーディスクによるテストを行ってください。システムが起動フ

フロッピーディスクから正しく起動し、そのシステムの CD-ROM ドライブが正しく認識されている場合、起動フロッピーディスクは正常に機能しており、ブータブル CD の作成作業に進んでください。



メモ : *config.sys* と *autoexec.bat* ファイルにコマンドラインを追加する場合は、絶対パスを使用しないでください。

正しいパスの指定方法例 : `device=aspicd.sys /d:aspicd0`

不正なパスの指定方法例 : `device=a:¥ aspicd.sys /d:aspicd0`

4

DirectCD を使用したデータ CD の作成

この章では、以下について説明します。

- ▶ DirectCD について 33
- ▶ CD-R と CD-RW 技術を理解する 34
- ▶ ファイルを CD にコピーする 41
- ▶ CD を取り出す 46
- ▶ CD を読み出す 50
- ▶ ファイルを追加および消去する 51
- ▶ 問題のある CD をチェックする 54
- ▶ DirectCD のトラブルシューティング 59

DirectCD について

DirectCD は CD-R、CD-RW または DVD レコーダブルへファイルを直接書き込むパケットライト ソフトウェアです。フロッピーディスクやリムーバブルディスクへコピーするように CD-R や CD-RW、DVD レコーダブルにもコピーできます。OS から CD レコーダが直接認識されてドライブ文字が割り当

てられ、Windows エクスプローラなどのアプリケーションソフトウェアから直接ファイルを CD に書き込んだり、読み出したりできます。

DirectCD は UDF v1.5 規格に準拠したファイルシステムをサポートしており、パケット書き込み技術を応用して CD-R、CD-RW または DVD レコーダブルヘータを書き込みます。このファイルシステムでは、コンピュータが CD レコーダを通常のフロッピーディスクなど同じように認識し、ドライブ文字を割り当てます。

CD が UDF v1.5 規格でフォーマットされると、Windows エクスプローラなどでドラッグアンドドロップ方式でファイルを CD にコピーできます。詳細は、46 ページの「コピー方法」を参照してください。

CD-R と CD-RW 技術を理解する

独自のデータ CD を初めて作成する場合は、以下に説明する関連用語と技術を理解しておくに役立ちます。

CD-RW 技術について

CD-RW レコーダを使用すると、オリジナル CD の作成に 2 種類の CD を利用できます。

- CD-R（書き込み可能 CD）メディア
- CD-RW（書き込みおよび消去可能 CD）メディア

CD-RW は CD-R と同じように CD へ情報を書き込むことができますが、CD に書き込まれたデータを消去して新しい情報を再度書き込むことができる点が CD-R と異なります。CD-R も CD-RW もそれぞれにユニークな利点を持っていますので、用途や使用方法に応じて使い分けてください。



メモ： CD-RW メディアには、CD-RW レコーダとマルチリード対応の CD-ROM ドライブだけが対応できます。

UDF v.1.5 について

UDF v.1.5 とは Universal Disk Format version 1.5 の略称で、CD レコーダをコンピュータの論理デバイスとして使用できるようにするファイルシステムの規格です。UDF を採用すると、CD レコーダ内の CD をフロッピーディスクやハードディスクと同じ様に扱えます。

DirectCD 5.0 には、UDF v.1.5 でフォーマットされた CD にアクセスするために必要な UDF 互換リーダが組み込まれています。DirectCD を使用して CD を作成した場合は、UDF Reader for Windows が自動的に CD にコピーされます。UDF Reader for Windows がインストールされていないシステムに接続された CD レコーダに CD を挿入すると、UDF Reader for Windows のインストール画面が自動的に起動して表示されます。

UDF v.1.5 互換リーダは、ほとんどの一般的なオペレーティング システムでサポートされています。UDF v.1.5 でフォーマットされた CD にアクセスするには、UDF v.1.5 互換リーダがインストールされている必要があります。

DirectCD の用途

DirectCD を使用すると、簡単にデータ ファイルを CD に直接コピーできます。従って、次のような場合に便利です。

- 長期間保存する必要があるデータをコピーする
- ハードディスク ドライブをバックアップする
- 多量のデータを遠隔の支店や現場などに送付する
- データを他のコンピュータに転送または配布する
- データベースを配布する

以下の CD を作成するような場合は、Easy CD Creator などの CD マスタリングソフトウェアが適しています。

- CD を大量生産する前のテスト用 CD
- 異なるオペレーティング システム（DOS や Windows 3.x など）でも読める CD
- 音楽 CD
- CD エクストラなどの特別なデータ CD

詳細については、CD マスタリングソフトウェアのオンライン ヘルプを参照してください。


DirectCD を起動する

DirectCD を起動する場合は、以下のいずれかを行います。

- Easy CD Creator の **Project Selector** で**データ CD の作成**をポイントし、次に **DirectCD** をクリックします。

- Windows のタスクバーにある**スタート** ボタンをクリックして、**プログラム、Roxio Easy CD Creator 5、アプリケーション**の順にポイントします。次に **DirectCD フォーマットユーティリティ**をクリックします。



- Windows タスクバーにある CD アイコン  をダブルクリックします。
- DirectCD または他の UDF v.1.5 対応プログラムでフォーマットしてある CD-R、CD-RW または DVD レコーダブルメディアを CD レコーダに挿入します。数秒後に **CD の準備完了**ダイアログ ボックスが表示されます。この後は、ドライブ文字を通して読み書き可能なあらゆるプログラム上から CD にアクセスしてファイルの読み書きができます。

DirectCD フォーマット ユーティリティ 画面が表示された後は、この画面で CD をフォーマットしてからドラッグアンドドロップするだけでファイルをコピーできます。

DirectCD フォーマット ユーティリティ画面について

DirectCD フォーマット ユーティリティ画面では、DirectCD が持つ各機能にアクセスでき、選択した CD レコーダと CD についての情報が表示されます。この画面から CD をフォーマットすることでファイルをコピーする準備が整います。Windows エクスプローラや他のアプリケーションプログラムを使用して、ファイルを CD にコピーします。具体的な操作方法については、46 ページの「**コピー方法**」を参照してください。



- **CD の選択** : CD が挿入されている CD レコーダを選択します。1 台の CD レコーダしか装着されていない場合は、その CD レコーダが自動的に選択されます。使用する CD レコーダが表示されない時は、接続が適切であるかと Roxio の Web サイトにあるサポート ドライブのページをご確認ください。
- **CD 情報** : 選択した CD レコーダ内にある CD について、以下の情報を表示します。
 - **ステータス** : 現在の CD 状態です。詳細については、41 ページの「初めてファイルを CD-R にコピーする」と 42 ページの「初めてファイルを CD-RW にコピーする」、44 ページの「初めてファイルを DVD レコーダブルにコピーする」を参照してください。
 - **ラベル** : CD を識別するために入力された名前です。
 - **空き領域** : CD の空き容量 (MB 単位) です。
 - **合計領域** : CD の最大容量 (MB 単位) です。
 - **種類** : CD の種類です。詳細については、**ステータスと種類オプション**の詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
 - **圧縮** : CD が圧縮されているかどうかをはいまたはいいえで指定します。
 - **使用中のプログラム** : 現在 CD を使用しているプログラムです。
- **フォーマット** : 新しい CD をフォーマットするダイアログ ボックスを表示します。既にフォーマットしてある CD-RW や DVD レコーダブルメディアも再フォーマットできます。再フォーマットすると、CD 内にあるすべての既存ファイルにはアクセスできなくなります。41 ページの「初めてファイルを CD-R にコピーする」と 42 ページの「初めてファイルを CD-RW にコピーする」、44 ページの「初めてファイルを DVD レコーダブルにコピーする」を参照してください。
- **取り出し** : 現在選択している CD レコーダから CD メディアを取り出します。CD の種類と選択したオプションによっては、**オプション**ダイアログ ボックスが表示されます。46 ページの「CD-R メディアを取り出す」と 49 ページの「CD-RW または DVD レコーダブルメディアを取り出す」を参照してください。
- **ユーティリティ** : ScanDisc にアクセスできる **DirectCD 5.0 ユーティリティ** ダイアログ ボックスを表示します。54 ページの「問題のある CD をチェックする」を参照してください。

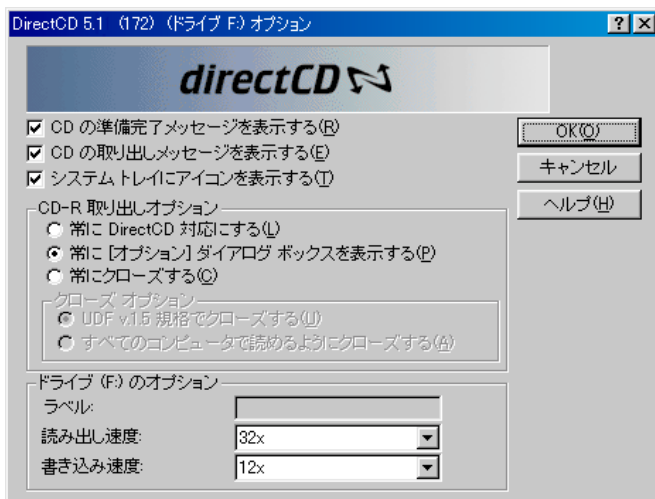
- **CD の消去**： CD-RW または DVD レコーダブル内のデータを消去します。データが消去されると、空き領域が拡大します。52 ページの「CD を消去する」を参照してください。
- **書き込み可能にする**： Easy CD Creator を使用して作成した CD-R にファイルを追加できるようにします。CD にファイルを追加するには、CD が書き込み可能状態（セッションがクローズされており、かつ CD がクローズされていない状態）である必要があります。51 ページの「Easy CD Creator で作成した CD-R にファイルを追加する」を参照してください。
- **Web-CheckUp**： インターネット ブラウザを起動し、ソフトウェアの更新 Web サイトへ自動的に接続します。
- **オプション**： DirectCD のオプションを変更する**オプション** ダイアログボックスを表示します。38 ページの「DirectCD のオプションを変更する」を参照してください。

DirectCD のオプションを変更する

いくつかのオプションは、ユーザーが変更できるようになっています。

オプションを変更するには：


- 1 **DirectCD フォーマット ユーティリティ**画面の **CD の選択**ボックスで、使用する CD レコーダを選択します。
- 2 **オプション**をクリックします。**オプション** ダイアログボックスが表示されます。



3 必要に応じてオプションを変更します。

ここで選択したオプションは、直ちに DirectCD に反映されます。

選択可能なオプションは、以下のとおりです。

オプション	説明
CD の準備完了メッセージを表示する	CD の準備ができたときに CD の準備完了 ダイアログ ボックスを表示させる場合は、このオプションをクリックします。このダイアログ ボックスは、DirectCD でフォーマットされた CD を CD レコーダに挿入して CD へのアクセスが可能になったときに表示されます。
CD の取り出しメッセージを表示する	DirectCD を使用して CD を取り出す度に CD の取り出し ダイアログ ボックスを表示させる場合は、このオプションをクリックします。
システムトレイにアイコンを表示する	DirectCD アイコン  を Windows タスクバーに表示させる場合は、このオプションをクリックします。このアイコンをダブルクリックまたは右クリックすると、DirectCD が起動します。

CD-R の取り出しオプション

常に DirectCD 対応にする CD を取り出す時にフォーマットを DirectCD 対応のままにしておく場合は、このオプションをクリックします。DirectCD 対応の CD は、CD-R または CD-RW レコーダに挿入するだけで読み出しおよび書き込みが可能なドライブとして認識されます。ただし、CD-R または CD-RW レコーダでしか CD を読めません。

常に [オプション] ダイアログボックスを表示する このオプションをクリックすると、**取り出し** をクリックする度に必ず**オプション** ダイアログボックスが表示されます。CD に適用する取り出しオプションを選択できます。

オプション	説明
常にクローズする	
UDF v.1.5 規格でクローズする	CD を UDF v.1.5 規格クローズする場合に、このオプションをクリックします。UDF v.1.5 規格の CD は、UDF 互換リーダがインストールされた CD-ROM ドライブで読むことができます。
すべてのコンピュータで読み出せるようにクローズする	CD を ISO 9660 フォーマットでクローズする場合は、このオプションをクリックします。このフォーマットの CD は、Windows 環境で動作している標準の CD-ROM ドライブで読むことができます。

- 4 必要に応じて、OS から認識されるドライブ（例えばドライブ D: など）に適用させるオプションを変更します。

これらのオプションは、**DirectCD フォーマットユーティリティ**画面で選択した CD レコーダだけに適用されます。

- **ラベル** : CD を識別するための名前を入力します。既にある名前をそのまま使用することもできます。名前は半角で 11 文字まで、または全角で 5 文字までで、以下の記号は使用できません。

¥ / : ; * ? " < > | + = . , [] .



メモ : 使用する CD メディアの対応速度がドライブの速度に一致しているかを確認してください。通常は、読み出しまたは書き込み速度を変更する必要はありません。

- **読み出し速度** : 現在のドライブの読み出し速度です。CD に大量のデータを書き込んでいる場合は、書き込み速度と同じスピードで読み出すために、読み出し速度を変更できます。読み出し速度の変更についての詳細は、オンラインヘルプを参照してください。
- **書き込み速度** : 現在のドライブの書き込み速度です。CD メディアの対応速度に合わせて書き込み速度を変更できます。CD を作成した後で、その CD を同じドライブで読み出せない場合は、遅い書き込み速度で再びデータを書き込んでください。

- 5 **OK** をクリックします。

ファイルを CD にコピーする

ブランク CD を使用する場合は、その前に CD をフォーマットする必要があります。フォーマットのオプションは、使用する CD によって異なります。以下に初めてファイルをコピーする場合とファイルのコピー方法について説明します。

初めてファイルを CD-R にコピーする

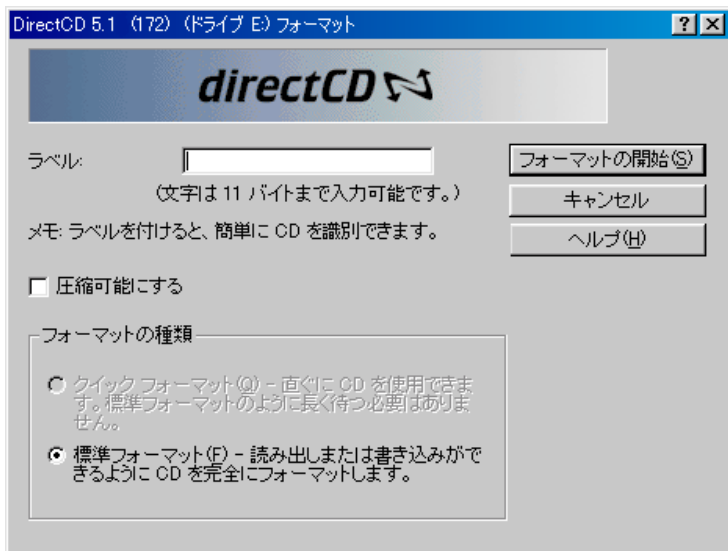
CD-R にファイルをコピーする場合は、その前にメディアをフォーマットする必要があります。



メモ： 既にフォーマットされている CD-R メディアは、再フォーマットできません。

CD-R メディアをフォーマットするには：

- 1 CD レコーダにブランクの CD-R を挿入します。
- 2 **DirectCD フォーマット ユーティリティ**画面の **CD の選択**ボックスで、フォーマットする CD が入っている CD レコーダを選択します。
- 3 **フォーマット**をクリックします。**フォーマット**ダイアログボックスが表示されます。



- 4 CD を識別する名前を**ラベル** ボックスに入力します。

CD に付けられる名前は半角で 11 文字まで、または全角で 5 文字まで、以下の記号は使用できません。

¥ / ; * ? " < > | + = . , [] .

CD-R のフォーマット中は、**フォーマットの種類** オプションを使用できません。フォーマットには 15 秒から 30 秒かかります。

- 5 **フォーマットの開始** をクリックします。CD のフォーマットが始まり、進行状態を示すダイアログ ボックスが表示されます。

CD のフォーマット中も他の作業を実行できます。フォーマットが完了すると、**CD の準備完了** ダイアログ ボックスが表示されます。

- 6 **OK** をクリックします。これで CD にファイルをコピーする準備が整いました。46 ページの「コピー方法」を参照してください。

初めてファイルを CD-RW にコピーする

CD-RW にファイルをコピーする場合は、その前にメディアをフォーマットする必要があります。

クイック フォーマット を使用すると、CD 内の既存データを消去する目的で CD をフォーマットすることもできます。このコマンドは、ファイルが書き込まれている場所を示す内部インデックスだけを削除します。従って、ファイルは表示されずに消去されたように見えますが、実際のファイルは CD に残っています。

CD-RW をフォーマットまたはそのデータを消去するには：

- 1 CD レコーダにブランクの CD-RW メディアを挿入します。
- 2 **DirectCD フォーマット ユーティリティ** 画面の **CD の選択** ボックスで、使用する CD レコーダを選択します。
- 3 **フォーマット** をクリックします。**フォーマット** ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4 **ラベル** ボックスに、CD を識別する名前を入力します。

CD に付けられる名前は半角で 11 文字まで、または全角で 5 文字まで、以下の記号は使用できません。

¥ / ; * ? " < > | + = . , [] .

- 5 CD にデータを圧縮して書き込む場合は、**圧縮可能にする** をクリックします。

データを圧縮して書き込むと、CD 内の使用領域を節約できます。ただし、圧縮可能にしてフォーマットした CD に書き込まれるデータは、すべて圧縮されます。圧縮比率はコピーするファイルの種類によって異なりますが、約 1.5:1 から 3:1 です。

圧縮した CD から読み出すには、システムに DirectCD 5.0 または UDF 互換リーダがインストールされている必要があります。DirectCD を使用して CD を作成した場合は、UDF Reader for Windows が自動的に CD にコピーされます。UDF Reader for Windows がインストールされていないシステムに接続された CD レコーダに CD を挿入すると、UDF Reader for Windows のインストール画面が自動的に起動して表示されます。圧縮した CD に他の CD レコーダを使用して書き込む場合は、DirectCD を使用する必要があります。

6 フォーマットの種類

ボックスで、適用するフォーマットの種類を選択します。

- ブランクの CD-RW メディアをフォーマットする場合には、2 つのオプションがあります。
 - **高速フォーマット**：これは、いくつかの CD-RW レコーダでしかサポートされていない特別なフォーマット方法です。このオプションを使用できるのは、お使いの CD レコーダがこのフォーマットに対応している場合だけです。高速フォーマットは、3 分から 7 分で CD が使用できるようになりますが、すべてのフォーマット作業が完了した訳ではありません。残りのフォーマット作業はバックグラウンドで実行されます。バックグラウンドで行われているフォーマット作業は、CD レコーダの速度やコンピュータの作業負荷状態によっても変わりますが約 90 分かかります。高速フォーマットを中断するには、CD をレコーダから取り出すだけで安全に中断できます。フォーマットが完了していない CD は CD-RW 対応の他のレコーダでも読めますが、データは書き込めません。フォーマットが完了すると、データを書き込むことができます。フォーマットを中断した CD を再度レコーダに挿入すると、中断された箇所からフォーマットが再開します。
 - **標準フォーマット**：このフォーマット方式では、2 倍速の CD レコーダで約 60 分、8 倍速では約 15 分かかります。メディアの表面状態を検証し、CD をデータ対応に準備してから UDF ファイルシステムを書き込みます。

- 既にフォーマットされている CD-RW をフォーマットする場合は、2つの方法があります。
 - **クイック フォーマット**：このフォーマット方式では、数分でフォーマットが終了します。DirectCD ファイル システムを CD に書き込みますが、CD の物理的状态を確認しません。CD 内の既存データにはアクセスできなくなりますが、実際のデータは CD に残っています。
 - **標準フォーマット**：この方式は基本的に**クイック フォーマット**と同じですが、CD 内にある既存のファイルはすべて実際に削除されます。
- 7 **フォーマットの開始**をクリックします。CD のフォーマット作業が始まり、進行状態を示すダイアログ ボックスが表示されます。

CD がフォーマットされている間も他の作業を実行できます。フォーマットが完了すると、**CD の準備完了**ダイアログ ボックスが表示されます。
- 8 **OK**をクリックします。これで CD にデータを書き込む準備が整いました。46 ページの「コピー方法」を参照してください。

初めてファイルを DVD レコーダブルにコピーする

DVD レコーダブルにファイルをコピーする場合は、その前に DVD レコーダブルメディアをフォーマットする必要があります。

DVD レコーダブル内の既存データを消去する目的で DVD レコーダブルメディアをフォーマットすることもできます。この目的には**クイック フォーマット**を使用してください。この方式では、ファイルが書き込まれている場所を示す内部インデックスだけが削除されます。従って、ファイルは表示されずに消去されたように見えますが、実際のファイルは DVD レコーダブルに残っています。

DVD レコーダブルメディアをフォーマットするには：

- 1 DVD レコーダにブランクの DVD レコーダブルメディアを挿入します。
- 2 **DirectCD フォーマット ユーティリティ**画面の **CD の選択**ボックスで、使用する DVD レコーダを選択します。
- 3 **フォーマット**をクリックします。**フォーマット**ダイアログ ボックスが表示されます。
- 4 **ラベル**ボックスに、DVD レコーダブルを識別するための名前を入力します。

DVD レコーダブルに付けられる名前は半角で 11 文字まで、または全角で 5 文字までで、以下の記号は使用できません。

¥ / : ; * ? " < > | + = . , [] .

- 5 DVD レコーダブルにデータを圧縮して書き込む場合は、**圧縮可能にする**をクリックします。

データを圧縮して書き込むと、DVD レコーダブルの使用領域を節約できます。ただし、圧縮可能にしてフォーマットした DVD レコーダブルに書き込まれるデータは、すべて圧縮されます。圧縮比率はコピーするファイルの種類によって異なりますが、約 1.5:1 から 3:1 です。

圧縮した DVD レコーダブルから読み出すには、システムに DirectCD 5.0 または UDF 互換リーダがインストールされている必要があります。DirectCD を使用して DVD レコーダブルを作成した場合は、UDF Reader for Windows が自動的に DVD レコーダブルにコピーされます。UDF Reader for Windows がインストールされていないシステムに接続された DVD レコーダに DVD レコーダブルを挿入すると、UDF Reader for Windows のインストール画面が自動的に起動して表示されます。圧縮した DVD レコーダブルに他の DVD レコーダを使用して書き込む場合は、DirectCD を使用する必要があります。

- 6 **フォーマットの種類**ボックスで、適用するフォーマットの種類を選択します。

- ブランクの DVD レコーダブル メディアをフォーマットする場合は、以下のオプションしか選択できません。
 - **標準フォーマット**：この方式では、1 倍速の DVD レコーダで約 60 分かかります。DVD レコーダブル メディアの表面状態を検証し、DVD レコーダブルをデータ対応に準備してから UDF ファイルシステムを書き込みます。
- 既にフォーマットされている DVD レコーダブル メディアをフォーマットする場合には、2 つの方法があります。
 - **クイック フォーマット**：このフォーマット方式では、数分でフォーマットが終了します。DirectCD ファイルシステムを DVD レコーダブルに書き込みますが、DVD レコーダブル メディアの物理的状態を確認しません。DVD レコーダブル内にある既存データにはアクセスできなくなりますが、実際のデータは DVD レコーダブルに残っています。
 - **標準フォーマット**：この方式は基本的に**クイック フォーマット**と同じですが、DVD レコーダブル内にある既存のファイルはすべて実際に削除されます。

- 7 **フォーマットの開始**をクリックします。DVD レコーダブル メディアのフォーマット作業が始まり、進行状態を示すダイアログ ボックスが表示されます。

DVD レコーダブル メディアのフォーマット中も、他の作業を実行できます。フォーマットが完了すると、**CD の準備完了**ダイアログ ボックスが表示されます。

- 8 **OK** をクリックします。DVD レコーダブルにファイルをコピーする準備が整いました。46 ページの「コピー方法」を参照してください。

コピー方法

CD がフォーマットされてファイルのコピー準備が完了すると、いろいろな方法でファイルを CD にコピーできます。

- Windows エクスプローラでは、CD レコーダに割り当てられたドライブ



文字 (のようなアイコンです) にファイルをドラッグアンドドロップすることでコピーできます。

- Windows 対応のアプリケーション ソフトウェアでは、**ファイル** メニューの**名前を付けて保存**をクリックします。**ファイル名を付けて保存**ダイアログで CD レコーダに割り当てられているドライブをクリックします。
- Windows エクスプローラでは、表示されているファイルを右クリックして次に**ファイル**をクリックして**送る**をポイントします。表示されたポップアップメニューから CD レコーダに割り当てられているドライブ文字をクリックしてもコピーできます。
- Windows の MS-DOS プロンプトを使用してもコピーできます。

CD を取り出す

CD レコーダから CD メディアを取り出すには、まず CD レコーダからメディアが排出される必要があります。CD の取り出し方法は、使用している CD の種類によって異なります。以下に CD の取り出し方法について説明します。

CD-R メディアを取り出す

CD-R メディアを取り出すには、3つのオプションがあります。CD の使用方法や目的によって、選択するオプションが異なります。

CD-R メディアを取り出すには：

- 1 **DirectCD フォーマットユーティリティ**画面の **CD の選択**ボックスで、CDが入っている CD レコーダを選択します。
- 2 次に**取り出し**をクリックします。または Windows **エクスプローラ**で CD レコーダに割り当てられているドライブ文字を右クリックし、次に**取り出し**をクリックします。

常に [オプション] ダイアログ ボックスを表示するチェックボックスをオンにしている場合は、**取り出し**をクリックする度に**オプション**ダイアログ ボックスが表示されます。

常に [オプション] ダイアログ ボックスを表示するチェックボックスをオフにしている場合は、**CD-R 取り出しオプション** ボックスで選択されたオプションに従って直ちに CD が排出されます。38 ページの「*DirectCD のオプションを変更する*」を参照してください。

- 3 **オプション**ダイアログ ボックスが表示された場合、適用するオプションをクリックします。
 - **常に DirectCD 対応にする** : メディアを CD レコーダに挿入するだけで、読み出しおよび書き込みが可能なドライブとして認識されます。標準の CD-ROM ドライブでは読み出せません。
 - CD-R または CD-RW レコーダでしか CD を読み出せません。
 - このオプションは、CD を記憶装置の一部として利用し、その CD を他のコンピュータで使用する必要がない場合だけに選択します。
 - **UDF v.1.5 規格でクローズする** : UDF v.1.5 フォーマットで CD をクローズします。この CD は、UDF v.1.5 互換リーダーがインストールされた CD-ROM ドライブで読み出せます。
 - DirectCD 5.0 または UDF v.1.5 互換リーダーがインストールされているコンピュータを使用している人に CD を渡す場合に、このオプションをクリックします。このオプションをクリックすると、以下のメモに説明している ISO 9660 規格よりも各セッションごとの使用領域が少なくなります。
 - DirectCD を使用して CD を作成した場合は、UDF Reader for Windows が自動的に CD にコピーされます。UDF Reader for Windows がインストールされていないシステムに接続された CD レコーダに CD を挿入すると、UDF Reader for Windows のインストール画面が自動的に起動して表示されます。
 - **すべてのコンピュータで読み出せるようにクローズする** : ほとんどの標準 CD-ROM ドライブで読めるように CD をクローズします。

- UDF v.1.5 互換リーダがインストールされた環境を持たない人に CD を渡す場合に、このオプションを使用します。Unix や Linux、Macintosh などの他のオペレーティング システムに接続されている CD-ROM ドライブでも特別なリーダを必要とせず CD を読み出せます。



メモ： このオプションでは、ISO 9660 フォーマットで CD をクローズします。ISO 9660 フォーマットは、最初のセッションに約 22 MB の領域、追加のセッションには各セッションごとに約 13 MB の領域をフォーマット情報の格納領域として使用します。

- 4 **すべてのコンピュータで読み出せるようにクローズする**をクリックすると、**CD を書き込み禁止にする**オプションも有効になります。

このオプションをクリックすると CD はクローズされ、この CD にこれ以上のファイルをコピーできなくなります。

- 5 **取り出し**をクリックします。

CD は選択されたオプションに従って処理され、排出されます。

取り出しオプションの詳細については、次ページの「CD-R の取り出しオプションを比較する」を参照してください。

CD-R の取り出しオプションを比較する

CD-R メディアを取り出す場合は、3 つの方法があります。CD の使用方法や目的によって、選択するオプションが異なります。次ページの表に各オプションの主な特徴を要約します。



メモ： CD を取り出すときに以下のオプションを表示させるには、常に **[オプション] ダイアログ ボックスを表示する**チェック ボックスをオンにします。また、いずれかのオプションをデフォルトとして設定できます。38 ページの「DirectCD のオプションを変更する」を参照してください。

設定	使用領域	圧縮した CD	ファイル名およびパス長	ファイルの読み出し専用設定
常に DirectCD 対応にする	特別な追加領域は必要ありません。	圧縮した CD でも使用できます。	Windows オペレーティングシステムの制限に従います。	CD 内のファイルを読み出し専用に変更しません。
すべてのコンピュータで読み出せるようにクローズする	データ領域以外に、最初のセッションに約 22 MB、追加のセッションごとに約 13 MB の領域が使用されません。	圧縮した CD では使用できません。	ファイル名は 64 文字まで、パス長はフォルダとサブフォルダを含めた 8 階層までです。	CD 内のファイルを読み出し専用に変更できます。ファイルを別のコンピュータにコピーした後は、Windows エクスプローラでファイルを右クリックし、次に プロパティ をクリックすると、読み出し専用設定を変更できます。
UDF v.1.5 規格でクローズする	クローズするときの追加領域は、 すべてのコンピュータで読み出せるようにクローズする オプションをクリックしてクローズした場合よりも少なくなります。	圧縮した CD でも使用できます。	ファイル名は 64 文字まで、パス長は合計 248 文字までです。	CD 内のファイルを読み出し専用に変更しません。

CD-RW または DVD レコーダブルメディアを取り出す

CD-RW または DVD レコーダブルメディアを取り出す場合、選択できるオプションがありません。DirectCD は直ちに CD を排出します。

CD を読み出す

CD をどこで使用できるかは、CD の種類と CD を取り出すときに選択したオプションによります。以下に、それぞれの CD の種類を読み出せる環境について説明します。

CD-R を読み出す

CD を取り出すときに選択したオプションによって、CD-R を使用できる環境が異なります。CD-R メディアを取り出す場合は、3 つのオプションがあります。



メモ: CD を取り出すときに以下のオプションを表示させるには、常に [オプション] ダイアログ ボックスを表示するチェックボックスをオンにします。38 ページの「DirectCD のオプションを変更する」を参照してください。

- **常に DirectCD 対応にする:** これは、UDF v.1.5 フォーマットを維持し、セッションをオープンした状態にしておきます。この CD は以下の CD レコーダで読み出せます。
 - DirectCD 5.0 がインストールされたシステムに接続されている CD-R レコーダまたは CD-RW レコーダ。
 - UDF v.1.5 互換リーダがインストールされたシステムに接続されている CD-R または CD-RW レコーダ。DirectCD を使用して CD を作成した場合は、UDF Reader for Windows が自動的に CD にコピーされます。CD レコーダに CD を挿入すると、UDF Reader for Windows のインストール画面が自動的に起動して表示されます。
 - UDF v.1.5 互換リーダがインストールされたシステムに接続されているマルチリード対応の CD-ROM ドライブ。DirectCD を使用して CD を作成した場合は、UDF Reader for Windows が自動的に CD にコピーされます。CD-ROM ドライブに CD を挿入すると、UDF Reader for Windows のインストール画面が自動的に起動して表示されます。
- **UDF v.1.5 規格でクローズする:** この場合、セッションはクローズしますが CD は UDF v.1.5 規格フォーマットのままです。この CD は以下のドライブで読み出せます。
 - DirectCD 5.0 がインストールされたシステムに接続されている CD-R または CD-RW レコーダ。

- UDF v.1.5 互換リーダがインストールされたシステムに接続されている CD-R または CD-RW レコーダ。DirectCD を使用して CD を作成した場合は、UDF Reader for Windows が自動的に CD にコピーされます。CD レコーダに CD を挿入すると、UDF Reader for Windows のインストール画面が自動的に起動して表示されます。
- UDF 互換リーダがインストールされたシステムに接続されている標準 CD-ROM ドライブ。DirectCD を使用して CD を作成した場合は、UDF Reader for Windows が自動的に CD にコピーされます。CD-ROM ドライブに CD を挿入すると、UDF Reader for Windows のインストール画面が自動的に起動して表示されます。
- **すべてのコンピュータで読み出せるようにクローズする**：これは、ISO 9660 フォーマットで CD をクローズします。Windows や Unix、Linux、Macintosh などの他のオペレーティング システムに接続されている CD-ROM ドライブでも特別なリーダを必要とせずに CD を読み出せません。

取り出しオプションの詳細については、48 ページの「*CD-R の取り出しオプションを比較する*」を参照してください。

CD-RW を読み出す

CD-RW ドライブとマルチリード CD-ROM ドライブだけが CD-RW を読み出せます。

DVD レコーダブルを読み出す

DVD ドライブだけが DVD レコーダブルを読み出せます。

ファイルを追加および消去する

ファイルを CD にコピーした後も、ファイルの追加や消去ができます。

Easy CD Creator で作成した CD-R にファイルを追加する

Easy CD Creator で作成した CD-R（セッションがクローズされ、かつ CD がクローズされていないことが条件です）にファイルを追加する場合、まず CD を書き込み可能にする必要があります。

Easy CD Creator で作成した CD-R にファイルを追加するには：

- 1 CD を CD レコーダに挿入します。

- 2 **DirectCD フォーマットユーティリティ**画面の **CD の選択**ボックスで、使用する CD レコーダをクリックします。
- 3 **書き込み可能にする**をクリックします。**書き込み可能にする**ダイアログボックスが表示されます。
- 4 必要に応じて、CD に付ける新しい名前を**ラベル**ボックスに入力します。
CD に付けられる名前は半角で 11 文字まで、または全角で 5 文字までで、以下の記号は使用できません。
¥ / ; * ? " < > | + = . , [] .
- 5 **書き込み可能にする**をクリックし、**CD の準備完了**ダイアログボックスが表示されるまで待ちます。

これで Windows エクスプローラまたは他の Windows 対応アプリケーションプログラムを使用して、CD にファイルを追加できます。46 ページの「コピー方法」を参照してください。

他の CD にファイルを追加する

DirectCD を使用してフォーマットされた CD-R や CD-RW、DVD レコーダブルには、CD の空き領域がなくなるまでファイルを追加できます。

Easy CD Creator で作成した CD-R（セッションがクローズされ、かつ CD がクローズされていないことが条件です）を使用している場合は、51 ページの「Easy CD Creator で作成した CD-R にファイルを追加する」を参照してください。

CD にファイルを追加するには：

- 1 CD を CD レコーダに挿入します。
- 2 **CD の準備完了メッセージを表示する**チェックボックスをオンにしている場合は、**CD の準備完了**ダイアログボックスが表示されてから **OK** をクリックします。38 ページの「DirectCD のオプションを変更する」を参照してください。
- 3 ファイルの追加作業を続行します。46 ページの「コピー方法」を参照してください。

CD を消去する

CD-RW と DVD レコーダブルの消去機能を使用して、CD 内のファイルリストを示す内部ディレクトリを消去できます。この CD にファイルをコピーする場合は、その前に再度 CD をフォーマットする必要があります。42 ページ

の「初めてファイルをCD-RWにコピーする」と44ページの「初めてファイルをDVDレコダブルにコピーする」を参照してください。



メモ：CD-Rでは書き込まれたデータを消去できないので、**CDの消去**を使用できません。

CDの内容を消去するには：

- 1 CDをCDレコーダに挿入します。
- 2 **DirectCD フォーマット ユーティリティ**画面の**CDの選択**ボックスで、使用するCDレコーダをクリックします。
- 3 **CDの消去**をクリックします。
存在するすべてのデータを消去する確認ダイアログボックスが表示されます。
- 4 **はい**をクリックするとCDの消去作業が開始します。DirectCDはCD内にあるすべてのデータを削除します。この作業には数分かかります。

個別のファイルを削除する

Windows エクスプローラを使用して、CD内にある個別のファイルを削除できます。CD-RW または DVD レコダブルからファイルを削除すると、CDの空き領域が増えます。

CD-R からファイルを削除しても、ファイルが書き込まれている場所を示す内部インデックスだけが削除されます。CD内のファイルはもはや見ることができませんが、ファイルを削除したことでその分空き領域が実際に増えるわけではありません。

個別のファイルを削除するには：

- 1 CDをCDレコーダに挿入します。
- 2 Windows エクスプローラで、削除するファイルを右クリックします（複数のファイル選択も可能です）。
- 3 **削除**をクリックします。**ファイルの削除の確認**ダイアログボックスが表示されます。
- 4 **はい**をクリックして、選択したファイルを削除します。

問題のある CD をチェックする

ScanDisc は、DirectCD で作成した CD が正常に動作しない場合その CD 内のファイルを復元します。以下のファイルを復元できるチャンスがあります。

- **Windows エクスプローラで表示されないファイル**：大部分またはすべてのファイルが CD に書き込まれたが、ファイルのディレクトリ情報が完全に書き込まれる前に書き込み作業が中断されたために、Windows エクスプローラでファイルが表示されない。
- **損傷ファイル**：CD が破損したため、読み出し不能なセクションを持つファイル。
- **ロスト ファイル**：ファイルそのものは完全だがファイル名が失われたために読めないファイル。これは、CD から削除されたファイルの場合も当てはまります。

ファイルの破損がひどく、ScanDisc では復元できないファイルがある場合は、このファイルについて報告します。

ScanDisc は損傷した CD を修復し、その一部または全部を再び使用できるようにします。

ScanDisc は、CD-R や CD-RW、DVD レコーダブル メディアを CD レコーダに挿入したときに以下の症状が起きた場合に使用します。

- Windows エクスプローラで、CD 内にある一部またはすべてのファイルを表示できない
- ファイルの作成に使用したアプリケーション ソフトウェアを使用しても CD 内のファイルを開けない
- CD へのファイルの書き込む作業がシステムや電源障害などによって中断された
- DirectCD から CD を認識できない旨が報告された

ScanDisc を起動する

ScanDisc を起動するには：

- 1 CD を CD レコーダに挿入します。
- 2 **DirectCD フォーマット ユーティリティ**画面で、**ユーティリティ**をクリックします。**ユーティリティ** ダイアログボックスが表示されます。
- 3 **ScanDisc** をクリックします。**ScanDisc** ダイアログボックスが表示されます。

- 4 **スキャン**をクリックすると、CD のスキャンが始まります。**ScanDisc の進行状況**ダイアログ ボックスが表示されます。

CD 内に問題が発見された場合、ファイルの復元や CD の修復に必要な CD 情報を収集するために CD のチェックを行なうかを確認するダイアログ ボックスが表示されます。

- 5 **はい**をクリックします。

CD の情報収集が開始し、**ScanDisc の進行状況**ダイアログ ボックスが表示されます。**状態**欄の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

修復可能な損傷ファイルが見つかったと、それらのファイルを復元するかどうかを尋ねてきます。56 ページの「**ファイルを復元する**」を参照してください。

復元するファイルが見つからない場合は、スキャン処理を続行します。

ScanDisc の動作について

ScanDisc が起動すると ScanDisc は CD をスキャンし、特定の問題の有無を調査します。スキャン中は、以下の処理状況を表示します。

- 1 **CD を調べています** : ScanDisc は、その CD 内のファイルやフォルダ、インデックスを読めるかを調査します。
- 2 **CD の情報を収集しています** : ScanDisc が CD 内のファイルやフォルダを見ることができない場合、その CD についての情報を収集します。この作業には数分またはそれ以上かかります。
 - a 情報を収集した後は、CD 内のファイルを復元するかどうかを尋ねてきます。ファイルへのアクセスが必要な場合は、そのファイルを復元することを強く推奨します。56 ページの「**ファイルを復元する**」を参照してください。
 - b ファイルを復元する場合は、復元するフォルダやファイルを選択し、それらのコピー先を指定します。
 - c ScanDisc が復元処理中に損傷ファイルが見つかった場合、復元した損傷ファイルのリストを表示します。59 ページの「**損傷ファイルを復元する**」を参照してください。
- 3 **ロスト ファイルを検索しています** : ScanDisc はロスト ファイルを検索します。発見された場合は、そのファイルを別の場所にコピーします。57 ページの「**ロスト ファイルを復元する**」を参照してください。
- 4 **CD を修復しています** : ScanDisc は CD を修復して再び使用できるように試みます。CD を修復しても CD 内のファイルは使用できない場合も

あります。また、CD の空き領域が減少している場合もあります。ScanDisc は、損傷が著しい CD は修復できません。58 ページの「CD を修復する」を参照してください。

- 5 **ファイルの完全性を確認しています：** ScanDisc は損傷ファイルの有無を確認します。損傷ファイルが見つからなかった場合は、完了メッセージを表示します。
 - a 損傷ファイルが発見された場合、その損傷ファイルを別の場所（ハードディスクまたはフロッピーディスクなど）にコピーするかどうかを尋ねてきます。ScanDisc が損傷ファイルを復元できない場合は、ScanDisc がその CD をスキャンするたびにその旨を表示します。59 ページの「**損傷ファイルを復元する**」を参照してください。
 - b 損傷ファイルのコピーが完了した後は、コピー処理の完了メッセージが表示されます。

ファイルを復元する

CD に問題があり、CD 内に復元可能なファイルが発見された場合は、そのファイルの復元についてのダイアログ ボックスが表示されます。必要なデータが格納されているすべてのファイルを復元することを推奨します。ここでファイルを復元しておかないと、ScanDisc がその CD を修復しても、そのファイルにはアクセスできない可能性があります。

ファイルを復元するには：


- 1 **はい**をクリックします。**ファイルの復元**ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 **コピー元フォルダ** ボックスで、復元するファイルのフォルダをクリックします。

デフォルトでは、リストされたすべてのファイルとフォルダが選択されています。

- 3 **コピー元フォルダ** ボックスで、「復元しない」ファイルをクリックします。
- 4 **コピー先ドライブ** ボックスで、ファイルのコピー先をクリックします。

コピー先のフォルダは、この CD が挿入されている CD レコーダを除いて、コンピュータにあるドライブ内であればどこでも選択できます。ネットワークに接続されている他のコンピュータにファイルをコピーする場合は、まずこのドライブをネットワークに割り当てる必要があります。ネットワーク ドライブの割り当てについては、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。

- 5 **コピー先フォルダ** ボックス で、コピー先のフォルダをクリックします。

新しいフォルダを作成する場合は、**新規フォルダ**  をクリックしてフォルダ名を入力します。

- 6 **コピー**をクリックします。

ファイルが選択したフォルダ内にコピーされ、**ファイルのコピー** ダイアログ ボックスが表示されます。

損傷ファイルが発見された場合は、ファイル名が表示されます。

- 7 **完了**をクリックします。**ファイルの復元**ダイアログ ボックスが表示されます。
- 8 CD から必要なファイルをすべてコピーするまで手順 2 から 7 を繰り返します。
- 9 **ファイルの復元**ダイアログ ボックスで、**完了**をクリックして修復処理に進みます。

ロスト ファイルを復元する

復元処理中にロスト ファイルが発見された場合は、そのファイルの復元についてダイアログ ボックスが表示されます。

必要なデータが格納されているすべてのファイルを復元することを推奨します。ここでファイルを復元しておかないと、ScanDisc がその CD を修復しても、そのファイルにはアクセスできない可能性があります。

ロスト ファイルを復元するには：

- 1 ファイル名がないファイルが発見された場合、**はい**をクリックします。**コピー先の選択**ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 **コピー先ドライブ** ボックス で、ファイルのコピー先をクリックします。
コピー先のフォルダは、この CD が挿入されている CD レコーダを除き、コンピュータにあるドライブ内であればどこでも選択できます。ネットワークに接続されている他のコンピュータにファイルをコピーする場合は、まずこのドライブをネットワークに割り当てる必要があります。ネットワーク ドライブの割り当てについては、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- 3 **コピー先フォルダ** ボックス で、コピー先のフォルダをクリックします。
- 4 **コピー**をクリックします。**ファイルのコピー** ダイアログ ボックスが表示され、作業の進行状態が表示されます。

ScanDisc は、選択したフォルダにロスト ファイルをコピーします。コピーされたロスト ファイルには「sd000001.rec」で始まる一連番号が付けられます。

ロスト ファイルも損傷している場合があります。破損したロスト ファイルが発見された場合は、同様に一連番号 (sd000001.rec) が付けられて**損傷ファイル** ダイアログ ボックスにリストされます。ScanDisc は選択したフォルダに破損したロスト ファイルをコピーしますが、データが読めない箇所には空白領域を追加します。このコピーしたファイルは、これを作成したアプリケーションで開くことができる筈ですが、開けない場合は他の方法を考える必要があります。58 ページの「CD を修復する」を参照してください。

- 5 **完了**をクリックして修復作業を続行します。ロスト ファイルについての情報についてのメッセージが表示されます。
- 6 **続行**をクリックして修復作業を続行します。58 ページの「CD を修復する」を参照してください。

CD を修復する

損傷した CD 内にあるファイルを復元した後は、その CD を使用可能にするための修復ダイアログ ボックスが表示されます。**はい**をクリックすると、CD を使用可能にする修復処理が行なわれます。



メモ：CD を修復した後も、その CD 内のファイルにアクセスできない場合があります。ScanDisc は、すべての損傷した CD を修復できるわけではありません。

CD を修復するには：

- 1 CD の修復を行う場合は、**はい**をクリックします。**ファイルのコピー** ダイアログ ボックスが表示され、作業の進行状態が表示されます。

修復が完了すると、ScanDisc は CD 内にあるファイルの完全性を調査します。


- 2 **完了**をクリックします。

損傷ファイルを復元する

ScanDisc は CD を修復した後、CD 内にある各ファイルの完全性を調べ損傷ファイルの有無を確認します。損傷ファイルが発見された場合、その損傷ファイルを別の場所（ハードディスクまたはフロッピーディスクなど）にコピーするかどうかを尋ねてきます。

損傷ファイルを復元するには：

- 1 損傷ファイルが発見された場合は、**はい**をクリックします。**コピー先の選択**ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 **コピー先ドライブ** ボックスで、ファイルのコピー先をクリックします。
コピー先のフォルダは、この CD が挿入されている CD レコーダを除いて、コンピュータにあるドライブ内であればどこでも選択できます。ネットワークに接続されている他のコンピュータにファイルをコピーする場合は、まずこのドライブをネットワークに割り当てる必要があります。ネットワーク ドライブの割り当てについては、オペレーティング システムのマニュアルを参照してください。
- 3 **コピー先フォルダ** ボックスで、コピー先のフォルダをクリックします。

新しいフォルダを作成する場合は、**新規フォルダ**  をクリックしてフォルダ名を入力します。

- 4 **コピー**をクリックすると、**ファイルのコピー** ダイアログ ボックスが表示されます。
- 5 **完了**をクリックして、修復作業を続行します。コピーした損傷ファイルは、**損傷ファイル** ダイアログ ボックスにリストされます。
- 6 **続行**をクリックして修復作業を続行します。

修復できなかったファイルがある場合は、そのファイルが**復元不可能**ダイアログ ボックスにリストされます。

処理が完了すると、**ScanDisc の進行状況**ダイアログ ボックスが表示されます。

DirectCD のトラブルシューティング

CD にコピーされたファイルが Windows エクスプローラから見えない

Windows エクスプローラを使用しても CD 内のファイルを見ることができない問題には、いくつかの原因が考えられます。一般的な理由と、その解決策を次ページの表にまとめてみました。

一般的な理由**解決策**

ファイルが削除されたか、または CD が消去されました。

ファイルが削除された、または CD が消去された場合、データの復元はできません。

ファイルのディレクトリ情報が完全に記録される前に、書き込み作業が中断された場合（ただし、大部分あるいはすべてのデータファイルは既に CD に書き込まれていることが条件です）。この状態では、CD に書き込まれたファイルは Windows エクスプローラ からは見えません。

ScanDisc を使用してみてください。54 ページの「**問題のある CD をチェックする**」を参照してください。

CD の対応速度が使用中のレコーダの書き込み速度に一致していません。

CD の対応速度と CD レコーダの書き込み速度を調べます。CD の対応速度は、CD レコーダの速度と同じ、またはそれ以上速い必要があります。例えば CD レコーダが 2 倍速の場合、2 倍速、4 倍速、またはそれ以上の速度に対応した CD を使用する必要があります。

CD の対応速度が遅い場合は速い CD を使用するか、または CD レコーダの速度を変更してください。38 ページの「**DirectCD のオプションを変更する**」を参照してください。

読めない CD を修復する

DirectCD で作成した CD を挿入してから 15 秒経っても DirectCD の画面が表示されない場合は、CD が壊れているか、または読み出せないフォーマットが使用されています。例えば、大容量のファイルを CD に書き込んでいる間に CD レコーダが一時的に失速した場合などにこれらの問題が起きます。

DirectCD には、CD からファイルを復元して使用可能にする ScanDisc というユーティリティが提供されています。54 ページの「**問題のある CD をチェックする**」を参照してください。

5

CD Copier を使用した CD のコピー

この章では、以下について説明します。

- ▶ コピーできる CD の種類 62
- ▶ CD-ROM ドライブをソース ドライブとして使用する 64
- ▶ CD レコーダをソースおよびターゲット ドライブとして使用する 64
- ▶ CD をコピーする 65
- ▶ 音楽 CD とミックスモード CD をコピーする 65
- ▶ ハードディスク ドライブに CD をコピーする 65
- ▶ 複数枚のコピーを作成する 66
- ▶ CD 情報プロパティ 67
- ▶ CD レコーダまたは CD-ROM ドライブのプロパティ 67

CD Copier を使用すると、ほとんどの CD のバックアップ コピーを作成できます。CD のコピーは、一般的にオリジナル CD から作業用 CD を作成し、オリジナル CD を安全な場所に保管することを目的として行われます。



メモ： Easy CD Creator は、使用者が知的財産である著作物の著作権を所有している、または著作権者から複製を作成する許諾を得ている場合に著作物を複製することを目的に設計されています。著作権を所有していない、または著作権者から著作権法で保護されている知的財産を複製する許諾を得ずにこのソフトウェアを使用した場合は著作権法に違反し、損害賠償を含む刑罰の対象となります。複製する権利について不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。

コピーできる CD の種類

コピーできる CD の種類、およびバックアップ コピーの作成についての注意点を以下の表にまとめました。

CD の種類	注意点
データ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 市販されている CD の中には、コピーができないように設計されているものがあります。 ■ 1つのセッションだけを含む CD は、ディスクアットワンス モードでコピーできます。
音楽 CD	<ul style="list-style-type: none"> ■ ソース（コピー元）となる CD-ROM または CD レコーダは、オーディオトラックをデジタル情報として取り出すデジタルオーディオ抽出機能をサポートしている必要があります（Easy CD Creator は、コピー元の CD がドライブに挿入された時にデジタル オーディオ抽出をサポートしているかを確認します。） ■ ターゲット（コピー先）の CD レコーダがディスクアットワンス機能をサポートしている場合は、ディスクアットワンス モードで音楽 CD をコピーできます。

CD の種類	注意点
DirectCD	<ul style="list-style-type: none"> CD-ROM ドライブの中には、DirectCD でフォーマットされた CD を読み出せないものがあります。 <p>CD-RW メディアの場合は、マルチリード対応の CD-ROM ドライブで読み出せます。</p>
ミックスモード	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの CD によって結果は異なります。完全にコピーできる CD もあればコピーできない CD もあります。正しくコピーできない場合は、CD にコピープロテクションがかかっている可能性があります。
CD エクストラ	<ul style="list-style-type: none"> ディスクアットワンス モードでコピーしてください。トラック間のギャップ（無音部分）が 2 秒以下の場合、ディスクアットワンス モードでコピーしないと曲の一部が欠けてしまいます。
フォト CD	<ul style="list-style-type: none"> ソースの CD-ROM ドライブが CD-ROM XA の読み出しをサポートしている必要があります。市販されているほとんどの CD-ROM ドライブは、この機能に対応しています。
ビデオ CD	<ul style="list-style-type: none"> ソースの CD-ROM ドライブが CD-ROM XA の読み出しをサポートしている必要があります。市販されているほとんどの CD-ROM ドライブは、この機能に対応しています。



メモ：CD-ROM ドライブや CD レコーダの技術的制約のために、すべての種類の CD を完全にコピーできるわけではありません。ソース元の CD-ROM ドライブとコピー先 CD の両方に問題がある場合もあります。この場合、**CD Copier** ダイアログ ボックスの**高度な設定**タブで**テスト**をクリックし、ご使用のシステムが正しく CD をコピーできるかどうか確認してください。

CD-ROM ドライブをソース ドライブとして使用する

CD-ROM ドライブを持っている場合は、CD レコーダに挿入されているブランク CD に直接コピーできます。CD-ROM ドライブをソース ドライブ、CD レコーダを書き込み先ドライブとして使用します。



メモ： コピーする CD をソース ドライブに挿入し、**ソースとターゲット** タブでこのソース ドライブを選択すると Easy CD Creator はドライブと CD の両方を自動的にテストします。テストでは、選択したドライブが選択した CD を完全に読み出せるかを判断します。CD を正しく読み出せない場合は、エラーメッセージを表示します。

CD レコーダをソースおよびターゲット ドライブとして使用する

CD-ROM ドライブがなく CD レコーダだけを持っている場合は、CD レコーダをソースおよびターゲット ドライブの両方に使用して CD をコピーできます。**ソース** ボックスと**ターゲット** ボックスの両方で、使用するドライブとして CD レコーダを選択します。この場合、ハードディスク ドライブにソース CD のデータを一時的にコピーするために十分な空き領域が必要です。65 ページの「ハードディスク ドライブに CD をコピーする」を参照してください。



メモ： 最初にハードディスクに CD をコピーしてから CD にコピーすると、コピー処理の速度が上がると同時に CD レコーダでコピー元 CD とブランク CD (コピー先 CD) を入れ替える必要がなくなります。ディスク コピーを作成すると、CD Copier は CD を一時的にハード ディスク ドライブにイメージ ファイルとして記録し、それからこのイメージをブランク CD に書き込みます。

CD をコピーする

CD をコピーするには：

- 1 CD Copier を起動します。Easy CD Creator の**プロジェクトの選択**画面で **CD copier** をクリックします。
- 2 コピーを作成する CD をソース（コピー元）の CD-ROM ドライブまたは CD レコーダに挿入します。
- 3 **ソースとターゲット** タブにある **ソース** ボックスで、ソースの CD が挿入されているドライブをクリックします。



メモ： CD-ROM ドライブから直接コピーする場合は、64 ページの「**CD-ROM ドライブをソース ドライブとして使用する**」を参照してください。

- 4 **ターゲット** ボックスで、ブランク CD が挿入されているターゲット（コピー先）の CD レコーダをクリックします。一般に、お使いの CD レコーダがターゲットになります。
- 5 必要に応じて**高度な設定**タブで設定を変更します。
- 6 **コピー**をクリックすると、CD のコピーが始まります。

CD Copier は、ソース ファイルやフォルダをブランクの CD にコピーします。コピーが終了すると、完了のメッセージが表示されます。

音楽 CD とミックスモード CD をコピーする

ほとんどの CD-ROM ドライブは音楽 CD を再生できますが、すべての CD-ROM ドライブがデジタル オーディオを読み出せるわけではありません。

ハードディスク ドライブに CD をコピーする

複数の CD を一度に作成するときは、最初に CD をハードディスク ドライブにコピーすることでスピードアップします。

また、お使いのコンピュータに CD レコーダだけが搭載され、CD-ROM ドライブが搭載されていない場合は、最初に CD をハードディスク ドライブにコ

ピーすることでコピーを実行できます。CD レコーダは最初ソース ドライブとして使用され、その後でターゲット ドライブとして使用されます。

ディスク コピーを作成するには：

- 1 コピーを作成するソース CD をコピー元の CD-ROM ドライブまたは CD レコーダに挿入します。
- 2 **ソースとターゲット**タブにある**ソース** ボックスで、ソースの CD が挿入されているドライブをクリックします。
- 3 **高度な設定**タブをクリックします。コピー枚数は、デフォルトで 1 枚として表示されています。作成するコピー数を入力します。
- 4 **CDコピー** パネルの**最初に CD をハードディスクにコピーする**チェックボックスをオンにします。お使いのコンピュータに CD レコーダのみが搭載されている場合は、自動的にこのオプションが有効となります。



メモ： ハードディスクには、ソース CD のデータ サイズを上回る空き容量が必要です。一般に、74 分のブランク CD は 650 MB、80 分のブランク CD には 700 MB までのデータを記録できます。

- 5 CD イメージ ファイルの保存先として **C:¥WINDOWS¥TEMP** がデフォルトとして設定されます。**フォルダの選択**をクリックすると別の場所を指定できます。
- 6 **コピー**をクリックします。

ソースの CD 内容が CD イメージ ファイルとして一時的にハードディスクに保存され、その CD イメージがターゲット (コピー先) のブランク CD に書き込まれます。CD のコピーが完了すると、ハードディスク内の CD イメージは自動的に削除されます。

複数枚のコピーを作成する

CD Copier の CD ディスク コピー機能を使用すると、以下の条件を満たしている場合は同一内容の複数枚のコピーを素早く作成できます。

- ハードディスク ドライブに十分な空き容量がある。
- ソースドライブの読み込み速度がターゲットドライブの書き込み速度を下回る。

- 使用する CD レコーダがソース（コピー元）およびターゲット（コピー先）の両方として使用される。

65 ページの「ハードディスク ドライブに CD をコピーする」を参照してください。

CD 情報プロパティ

CD 情報のプロパティを表示するには：

- **ファイル** メニューの **CD 情報** をクリックします。**CD 情報** ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスには、選択した CD レコーダまたは CD-ROM ドライブに挿入されている CD についての情報（CD の種類や CD 内のセッション数とトラック数など）が表示されます。

特定のプロパティ設定については、**CD 情報** ダイアログボックスの**ヘルプ** をクリックしてください。

CD レコーダまたは CD-ROM ドライブのプロパティ

CD ドライブのプロパティを表示するには：

- **ファイル** メニューの **CD ドライブ プロパティ** をクリックします。**CD ドライブ プロパティ** ダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスには、CD レコーダまたは CD-ROM ドライブ、製造元、製品 ID、ファームウェア改訂番号、ドライブがサポートするいろいろな機能などについての情報が表示されます。

特定のプロパティ設定については、**CD ドライブ プロパティ** ダイアログボックスの**ヘルプ** をクリックしてください。

Easy CD Creator のトラブルシューティング

この章では、以下について説明します。

- ▶ 一般的な質問 68
- ▶ CD-R を読み出せない 70
- ▶ ヘルプを表示する 70

一般的な質問

Windows 2000 または Windows XP で Easy CD Creator 5 Basic を使用できますか？

はい。Easy CD Creator 5 Basic は、Windows 2000 Professional と Windows XP (Home Edition および Professional Edition) でお使いいただけます。また、Windows 95 と 98、NT 4.0、Me にも対応しています。ただし、Windows 2000 Server と Advanced Server、Datacenter Server には対応していませんのでご注意ください。



メモ: 既に各種アプリケーションプログラムがインストールされている Windows 95、98、NT または Me のシステムから Windows 2000 Professional または Windows XP へのアップグレードはインストール済みのソフトウェアの互換性の問題が発生させる恐れがあり、お勧めしません。これは、アプリケーションプログラムがオペレーティングシステムごとに異なるドライバを必要とする、またはオペレーティングシステムごとに異なる方法でインストールされている場合があるからです。Windows 95、98、NT または Me から Windows 2000 Professional または Windows XP にアップグレードした場合は、Easy CD Creator 5 Basic を再インストールしてください。

作成した音楽 CD が家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤで再生できないのですが？

家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤで CD を再生するには：

- CD は Red Book 規格に準拠した CD オーディオフォーマットで作成されている必要があります。家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤでは、Macintosh または ISO 9660 規格等のコンピュータ上で取り扱うオーディオファイル（例えば WAV や MP3、WMA）で書き込まれた CD を再生できません。家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤで再生するには、音楽 CD として作成してください。
- 作成した CD が単一セッションの場合、セッションは終了処理されている必要があります。
- 作成した CD がマルチセッションの場合、最初のセッションだけが家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤで再生可能です。また、最初のセッションは終了処理されている必要があります。
- CD-RW メディアを使用して CD を作成した場合、ほとんどの家庭用または車載用の音楽 CD プレーヤでは再生できません。
- CD プレーヤがマルチリードをサポートしている必要があります。マルチリードへの対応は、お使いの CD プレーヤの製造元にお問い合わせください。CD プレーヤがマルチリードに対応していない場合、CD-R からの読み出しに問題が生じる恐れがあります（CD-R メディアのブランドによっても差異が出る場合があります）。

複数の CD から音楽 CD を作成したいのですが？

Easy CD Creator を使用すると、複数の CD から音楽 CD を簡単に作成できます。11 ページの「編集音楽 CD を作成する」を参照してください。

CD-R を読み出せない

CD への書き込みが完了してもその CD から読み出せない場合には、以下の原因が考えられます。

- CD レコーダでは読めますが、標準の CD-ROM ドライブでは読めません。
CD-ROM ドライブでは、終了処理されていないセッションを読み出せません。他のブランドの CD-R メディアを使用してみてください。CD レコーダの製造元が推奨するブランドの CD-R メディアをお使いください。
- CD レコーダでは読めますが、標準の CD-ROM ドライブに挿入すると以下の問題が発生します。
 - CD が排出される。
 - エラーメッセージが表示される。
 - 一部のファイルまたはディレクトリにアクセスすると、ランダムに問題が発生する。


お使いの CD-ROM ドライブは、CD-R メディアの特性に対して十分な調整がされていないと考えられます。別の CD-ROM ドライブを使用するか、または別のブランドの CD-R メディアを使用してみてください。可能であれば、CD レコーダの製造元が推奨する CD メディアを使用することをお奨めします。

ヘルプを表示する

オンライン ヘルプ

Easy CD Creator の詳細については、各アプリケーションのオンライン ヘルプに記載されています。

オンライン ヘルプを表示するには：

- ほとんどのアプリケーションでは、**ヘルプ** メニューをクリックします。
- DirectCD の場合は、ウィンドウの右上隅にある  をクリックします。
- CD Copier の場合は、**ヘルプ** メニューの**トピックの検索**をクリックします。

Easy CD Creator オンライン サポート

Easy CD Creator のオンライン ヘルプまたはクイック スタート ガイドから回答が見つからない場合、弊社の Web サイト (<http://www.roxio.co.jp>) から最新の情報を入手できます。

索引

数字

2 秒間のギャップ..... 12

A

autoexec.bat 30, 31

B

BIOS..... 30

bootcat.bin 30

bootimg.bin 31

C

CD

MP3 ファイルから作成する .. 10, 11

WAV ファイルから作成する . 10, 11

WMA ファイルから作成する . 10, 11

音楽..... 8, 9, 10, 11

音楽 CD から作成する..... 10, 11

音楽を再生する..... 16

コピーする..... 12

修復する..... 58

消去する..... 27

スキャンする..... 55

損傷ファイルを復元する..... 56

タイトルを編集する..... 15

データ..... 22, 23, 24

ファイルが見えない..... 59

ファイルを追加する..... 34, 46, 52

ファイルを復元する..... 56

ブータブルにする..... 30

ブランク CD を入手する..... 5

編集..... 11

編集音楽..... 8, 11

マルチセッション..... 28

容量 6

読み出せない問題..... 70

ロスト ファイルを復元する 57

CD Copier 12

CD イメージ

使用する場合..... 12

CD イメージファイル 66

CD エクストラ

コピーする..... 63

CD をコピーする..... 61, 62, 64, 65

CD を書き込み禁止にするオプション

..... 48

CD を消去する..... 27

CD 書き込みセットアップ ダイアログ

ボックス 24

CD 情報..... 37

CD 情報ダイアログ ボックス 67

CD 情報のプロパティ..... 67

CD 情報バー..... 6, 18, 27

CD タイトル..... 11, 19, 20

CD ドライブのプロパティ..... 67

CD ドライブ プロパティ ダイアログ

ボックス 67

CD に書き込める量..... 6

CD の空き容量..... 18, 27

CD の準備完了メッセージを表示するオ

プション 39

CD の消去ボタン..... 37

CD の選択ボックス . 36, 38, 41, 42, 44, 47

CD の取り出しメッセージを表示するオ

プション 39

CD プレーヤ..... 16

CD プロジェクト

確認する..... 28

新規フォルダを作成する..... 24

- 開く..... 19
 - ファイルとフォルダを削除する.. 25
 - ファイルとフォルダを操作する.. 24
 - ファイルとフォルダ名を変更する
..... 25
 - プロパティ..... 20
 - 保存する..... 19
 - CD プロジェクトを確認する..... 28
 - CD プロジェクトプロパティ..... 20
 - CD メディア..... 5
 - CD-R..... 5
 - CD-R
 - Easy CD Creator で作成した CD に
ファイルを..... 51
 - 書き込み可能にする..... 51
 - ファイルを書き込む..... 34
 - ファイルを追加する..... 51
 - 読み出す..... 50
 - CD-R 技術..... 34
 - CD-R 取り出しオプション ボックス . 47
 - CD-R メディア..... 6
 - CD-R メディア
 - 取り出す..... 46
 - CD-ROM XA..... 28
 - CD-RW..... 5
 - CD-RW
 - 個別のファイルを削除する..... 53
 - 読み出す..... 51
 - CD-RW 技術..... 34
 - CD-RW メディア..... 27
 - CD-RW メディア
 - 取り出す..... 49
 - フォーマットする..... 44
 - config.sys..... 30, 31
- D**
- DirectCD..... 33
 - DirectCD
 - フォーマットユーティリティ... 36
- DirectCD CD
 - コピーする..... 63
 - DirectCD を起動する..... 35
 - DirectCD のオプションを変更する... 38
 - DirectCD の用途..... 35
 - DOS CD-ROM ドライバ..... 31
 - DVD レコーダブル
 - 圧縮する..... 45
 - 個別のファイルを削除する..... 53
 - 読み出す..... 51
 - DVD レコーダブル メディア
 - 取り出す..... 49
 - フォーマットする..... 45
- E**
- Easy CD Creator をアンインストールする
..... 3
 - Easy CD Creator Basic へようこそ..... 1
- I**
- ISO 9660..... 17, 26
 - ISO 9660 フォーマット..... 51
 - ISO 9660 フォーマット
 - クローズする..... 47
 - ISRC..... 20
- J**
- Joliet..... 17, 26
- M**
- MP3 ファイル..... 11, 16
 - mscdex.exe..... 31
- S**
- ScanDisc
 - 概要..... 54
 - 起動する..... 54, 60

使用する場合.....	54
ScanDisc ダイアログ ボックス.....	54
ScanDisc の進行状況ダイアログ ボックス	55, 59
ScanDisc ボタン.....	54
SCSI ホストアダプタ.....	30

U

UDF v.1.5 規格.....	34
UDF v.1.5 規格 読み出す.....	34, 50
UDF v.1.5 規格でクローズするオプション	40, 47
UDF v.1.5 互換リーダ.....	34, 50
UPC.....	20

W

WAV ファイル.....	11, 13, 16
Web-CheckUp ボタン.....	38
WMA ファイル.....	11, 13, 16

あ

アーティスト名.....	11, 15, 20
圧縮可能にするオプション.....	42, 45

い

一時ファイル 場所を指定する.....	66
一般的な質問.....	68
インターネット.....	19, 20
インポートする セッション.....	29

え

エミュレーション.....	31
---------------	----

お

オーディオトラック プロパティ....	20
オーディオファイル.....	8, 10, 16, 17
オーディオフォーマット.....	13
オプション DirectCD.....	38
取り出し方法.....	48
取り出し方法の比較.....	48
オプションダイアログボックス....	38
オプションボタン.....	38
オペレーティングシステム ISO 9660 規格に対応している....	51
UDF v.1.5 規格に対応している	34, 51
オリジナル CD コピーする.....	65
音楽 CD.....	8
音楽 CD コピーする.....	62, 65
音楽 CD の作成ヒント.....	12
音楽 CD プロジェクト.....	8, 9, 15
音楽 CD プロジェクト CD タイトルとアーティスト名を編 集する.....	15
トラックの順序を変更する.....	15
トラックをプレビューする.....	13
トラックを削除する.....	16
トラックを操作する.....	13
トラック名を編集する.....	15
オンライン音楽サービス	9, 11, 16, 19, 20
オンライン サポート.....	71

か

書き込み可能にするダイアログ ボックス	52
書き込み可能にするボタン.....	37, 52

書き込み速度	
変更する	40
書き込み速度ドロップダウン リスト	40
書き込み方法	18, 26
書き込む	
CDに複数のファイルを...	34, 46, 51
方法	34
完全性	
確認する	56
調査する	59

き

起動する	
ScanDisc	54, 60
起動フロッピーディスク	29, 31
ギャップ	
トラック間にある	12

く

クイック フォーマット オプション	42, 44, 45
クローズする	
ISO 9660 規格で	40, 47
UDF v.1.5 規格で	40

こ

合成トラック	15
合成トラックを分割する	15
高度な設定タブ	66
コピー先ドライブ ボックス...	56, 57, 59
コピー先の選択ダイアログ ボックス	57, 59
コピー先フォルダ ボックス	57, 59
コピーする	
CD	12
CDに複数のファイルを	34
損傷ファイル	56, 59

トラックを WAV、WMA ファイルに	13
方法	46
初めてファイルを CD-R に	41
初めてファイルを CD-RW に	42
初めてファイルを DVD レコーダブルに	44
ロス ファイルを	57, 58
コピー ボタン	57, 59
コピー元 CD	64
コピー元フォルダ ボックス	56

さ

最小システム要件	2
最初に CD をハードディスクにコピーするオプション	66
最新の技術情報	71
再生する	
トラック	16
サウンドカード	13, 16
削除する	
CD を作成する前にファイルとフォルダを	25
CD-RW から個別のファイルを	53
DVD レコーダブルから個別のファイルを	53
音楽 CD プロジェクトからトラックを	16
削除ボタン	25
作成する	
CD のコピー	65
音楽 CD	8, 9, 11, 12
合成トラック	15
新規フォルダ	24
データ CD	22, 23, 24
複数枚のコピー	66
ブータブル CD	29, 30
編集音楽 CD	11
マルチセッション CD	28

し

システムトレイにアイコンを表示するオプション	39
システム要件	2
修復する	
CD	58
読めないCD	60
順序	
トラック	16
消去する	
CD-RW	27, 52
DVDレコーダブル	52
新規作成	
フォルダ	24
新規フォルダボタン	57, 59

す

ステータスバー	17, 26
スピーカ	13, 16
すべてのコンピュータで読み出せるようにクローズするオプション	40, 47, 48

せ

製品サポート	71
セッション	28, 29, 70
セッションの終了処理	
CD-Rを読み出せない問題	70

そ

ソースドライブ	65
ソースとターゲットタブ	65
損傷したCD	
修復する	58
損傷ファイル	59

た

ターゲットドライブ	65
-----------	----

ダイアログボックスを表示するオプション	39
---------------------	----

つ

追加する	
CDにファイルを	34, 51, 52
音響効果	12
新規フォルダ	24
トラックをCDに	10
常にDirectCD対応にするオプション	39, 47

て

ディスクコピー	66
ディレクトリ	
CDを作成する前に削除する	25
CDを作成する前に名前を変更する	25
データCD	22
データCD	
コピーする	62
データCDプロジェクト	24
デジタルオーディオ抽出	65

と

ドライバ	30
トラック	
CDプロジェクト内にある数	17, 26
WAV、WMA、MP3ファイルに変換する	13
音楽CDプロジェクト	13
ギャップを除去する	12
合成を分割する	15
合成する	15
再生する	16
削除する	16
長さ	20
名前	11, 19, 20

名前を編集する.....	15
プレビューする.....	13
トラックを変換する.....	10, 11, 13
トラック間にある2秒間のギャップを除去する.....	12
トラブルシューティング	
CD-R から読み出せない問題.....	70
Windows エクスプローラからファイルが見えない.....	59
読めないCDを修復する.....	60
取り出しオプション	
比較する.....	48
取り出しボタン.....	37, 47
取り出す	
CD-R メディア.....	46
CD-RW メディア.....	49
DVD レコーダブルメディア.....	49

な

名前を変更する	
ファイルとフォルダ.....	25

は

ハードディスク エミュレーション.....	31
ハードディスク ドライブ	
音楽をコピーする.....	13
ハードディスク ドライブの空き領域.....	64, 66

ひ

ビデオ CD	
コピーする.....	63
表示する	
CD の空き容量.....	18, 27
CD プロジェクト内にあるファイルやフォルダ、トラック数.....	17, 26
標準フォーマット オプション.....	45

開く	
CD プロジェクト.....	19

ふ

ファイル	
CD を作成する前に削除する.....	25
CD を作成する前に名前を変更する.....	25
CD に追加する.....	34, 51
CD プロジェクト内にある数.....	17, 26
完全性を確認する.....	56, 59
検索する.....	25
コピー方法.....	34, 46
すべてを消去する.....	52
損傷したCDからコピーする.....	56
初めてCD-Rにコピーする.....	41
初めてCD-RWにコピーする.....	42
初めてDVDレコーダブルにコピーする.....	44
ロスト ファイルをコピーする.....	57
ファイル システム.....	17, 26
ファイルのコピー ダイアログ ボックス.....	57, 58, 59
ファイルの復元ダイアログ ボックス.....	56, 57
ブータブル CD	
作成する.....	30
システムが対応しているかを確認する.....	30
ブータブル CD-ROM.....	31
フェード効果	
CD に録音する前にプレビューする.....	13
復元する	
ファイル名がないファイル.....	57
損傷したCDからのデータ.....	56
損傷ファイル.....	59
ロスト ファイル.....	57
復元不可能ダイアログ ボックス.....	59
複数のトラックを結合する.....	15

複数枚のコピー	66
複数枚のコピー 作成のヒント	66
プラットフォーム ISO 9660 規格に対応している	51
UDF v.15 規格に対応してい	50
ブランク CD	5, 6
プレビューする トラック	13
フロッピーディスク	31
フロッピーディスク エミュレーション	30
プロパティ CD	67

へ

変更する CD を作成する前にファイルとフォルダ名を	25
DirectCD のオプション	38
トラックの順序	15
取り出しオプション	39
編集音楽 CD	8, 11
編集する CD を作成する前にファイルとフォルダの名前を	25
CD タイトル	15
アーティスト名	15
トラック名	15

ほ

フォーマットの開始ボタン ...	42, 44, 46
フォーマットの種類オプション	42, 45
フォーマットの種類ボックス	43
フォーマットする CD-R メディア	41
CD-RW メディア	43
DVD レコーダブルメディア ...	44

クイック フォーマット オプション	44
高速フォーマット オプション ...	43
標準フォーマット オプション	43, 45
フォーマット ダイアログ ボックス	4 41, 42, 44
フォーマット ボタン	37, 41, 42, 44
フォト CD コピーする	63
フォルダ CD を作成する前に削除する ...	25
CD を作成する前に名前を変更する	25
CD プロジェクト内にある数 .	17, 26
新規作成	24
保存する CD プロジェクト	19
トラックをハードディスクに .	10, 11
ハードディスク ドライブに	13

ま

マスタリング ソフトウェア 使用する時	35
マルチセッション CD	28, 29

み

ミックスモード CD コピーする	63, 65
ミニ CD-R メディア	6

も

モード (2)	28
---------------	----

ゆ

ユーティリティ ダイアログ ボックス	54
ユーティリティ ボタン	37, 54

よ

要件

システム.....	2
読み出し速度	
変更する.....	40
読み出し速度ドロップダウンリスト.....	40
読み出す.....	40
読み出す	
CD-R.....	50
CD-RW.....	51
DVD レコーダブル.....	51

ら

ラベル ボックス.....	40, 42, 44
---------------	------------

ろ

ロストファイル

CD から復元する.....	57
----------------	----